



令和八年度
PTA総会



<夕日に映える校舎と蔵王岳>

令和8年5月14日(木)

受	付	13:00~13:25
総	会	13:30~15:00
学級	PTA	15:20~16:00
部活動	PTA	16:00~16:40

鹿児島県立加治木工業高等学校

〒899-5211 始良市加治木町新富町131番地

TEL 0995(62)3166 FAX 0995(62)3168

令和8年度 鹿児島県立加治木工業高等学校・学校経営の基本方針

校長 福岡 幸彦

校 訓	自主 向学 勤労
教育目標	心身ともに健康で慈悲に満ちた心豊かな人間性を備え、科学探究の心と創造性豊かな資質を身に付けさせる教育を行う。また、自主 向学 勤労の校訓のもと、明るく活気ある学校を目指す。
教育方針	1 体・徳・知の調和の取れた生徒を育てる教育 2 地域社会に信頼され、貢献できる社会性や倫理観・正義感を育てる教育 3 文武に秀でた力を引き出し、豊かな情操を備え、思いやりを育てる教育 4 専門の特色を生かし、一人ひとりの可能性を伸ばす教育 5 116年目の歴史と伝統を未来へ繋ぐ意欲と創造力を育てる教育
<p>本年度の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の基盤を支える教育の充実と将来にわたって人生を豊かにする教育の充実 ○ 服務規律の遵守（ハラスメント、飲酒運転、体罰、不適切な指導は絶対にしない） ☆ KTeXプロジェクトを軸に、特色ある教育活動の展開を推進するとともに、地域社会との連携を強化し、その成果を広く情報発信することで、本校の教育に対する地域住民の理解促進を図る。 <p>本年度の努力事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎学力の向上と授業の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容の精選及び自宅学習の習慣化により、基礎学力の向上を目指す。 (2) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善及び評価改善に取り組む。 (3) 普専連携を通じてICTを活用した学習活動を一層充実させるとともに、産学連携による課題研究等の専門性の発展を目指す。 2 基本的な生活習慣の確立と発達支持的生徒指導の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業、清掃、部活動等あらゆる教育機会を通じてあるべき姿を指導する。 (2) 情報通信機器について、保護者と連携して適切な利用となるよう指導するとともに、トラブルの未然防止を含む対策を講じる。 (3) 生徒の多様性を尊重し、誰一人として排除されることのないインクルーシブな環境の構築を重視した生徒支援を推進する。 (4) 教職員と生徒との信頼関係を確立し、全ての生徒が安心・安全に過ごせる居場所づくりの実現に努める。 3 生徒の適性・志望に応じた進路指導の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の進路目標の早期設定に向け、面談等を充実させる。 (2) 多様な進路希望に対応できるよう職員が情報の共有を図る。 (3) 公務員や進学希望者への早期の指導体制を整える。 (4) 教員を志す生徒を育成するため、「先生になろうプロジェクト」を推進する。 4 各種検定や資格取得の奨励 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資格取得によりさらなる学習意欲の動機付けや目標設定となるよう指導する。 (2) 合格により得られる学習の達成感や成功体験が意欲向上へとなるよう指導する。 (3) 受験する資格・検定の精選を行い、効果的な取得となるよう指導する。 5 ものづくり教育の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「ものづくり学習は人づくり」の精神で、ものづくり教育を推進する。 (2) 学習した技術・技能を活かした地域貢献・ふれあい活動を推進する。 (3) 産学連携を通じて、実践的な経験と高度な専門知識の習得を促進し、専門性の向上を図る。 (4) 施設設備の使用・実習等における安全指導を徹底する。 6 部活動の充実と活性化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 部活動入部を促進し、多面的な指導による人間性の向上に努める。 (2) 段階的な部活動指導で生徒の体力増進や社会性の向上に努める。 (3) 全国・九州大会への出場を叶えられるよう環境整備に努める。 7 職員研修の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「育成指標」を踏まえ、研修の体系的かつ計画的な実施に努める。 (2) 校外研修や授業参観等により、学習指導の工夫・改善に努める。 (3) 近年の教育課題（SNS、不登校、特別支援等）に対応できる研修に努める。 (4) 業務改善につながる研修を行い、良好な職場環境づくりに努める。 (5) 人権尊重や教育公務員としての服務規律遵守に係る研修に努める。 	

学校における働き方改革へのご理解とご協力をお願い

～「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました～

教職員を取り巻く環境

学校における課題の複雑化・多様化

- いじめ・不登校対策
- 支援を必要とする子供への対応
- 多様な学習ニーズに応じた取組
- 教職員の長時間勤務 など



教職員一人一人が心身ともに健康で、その専門性を十分に発揮して質の高い教育活動を担っていけるような環境整備が必要です。



学校における働き方改革に係る計画の策定

令和7年6月給特法等の改正（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条）を受けて、令和8年3月に

「鹿児島県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました！

(詳しくは、こちらから→)



【計画の概要】

(令和8年度～11年度の4年間における)

- ・ 教職員の時間外在校等時間等に係る数値目標
- ・ 実施する業務量管理・健康確保措置の内容
- ・ 関連する取組、今後のフォローアップについて



働き方改革の取組例 ～ 今後、学校の働き方が変わります！ ～

- 学校行事や様々な教育活動について、それぞれの教育的価値を踏まえ、各学校で精選・統合を進めます。
- 勤務時間外の電話対応等について、自動音声機能等で対応している学校も増加しています。可能な限り勤務時間内のご連絡をお願いします。
- 全ての県立学校において8月中旬の5日間を学校閉庁日とします。
- その他、国の指針や県の計画で示された「学校又は教師の業務の3分類」を踏まえて、学校の業務を見直していきます。

引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします

鹿児島県教育委員会

(文部科学省作成広報チラシ)

地域・保護者の皆様へ



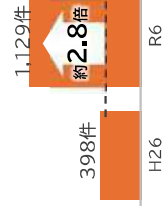
学校へのご理解・ご協力、いつもありがとうございます
子供たちへのより良い教育のためにさらなる学校へのご協力をお願いします

教師を取り巻く環境

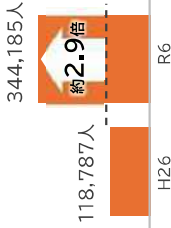
1

学校が対応する課題の多様化・複雑化

■ いじめの重大事態の発生件数(小中学校)

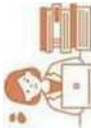


■ 不登校児童生徒数(公立小中学校)



厳しい勤務実態

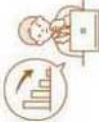
■ 平均時間外在校等時間は地方公務員の一般行政職の約3倍 (R4:月約47時間)



臨時講師等が確保できない

「教師不足」

採用選考試験の倍率は過去最低 (令和7年に小学校で2.0倍)



教師が子供にもっと向き合えるようにする必要があります！

文部科学省・教育委員会・学校の取組

2

■ 働き方改革を進めるための仕組み作り

■ 教職員定数の改善 ■ 支援スタッフの充実

■ 教職調整額の引上げ



更に取組を進めていくためには、これらの取組に加え、**地域や保護者の皆様のご協力が不可欠です！**

ご協力いただきたいこと

3

- ✓ コミュニティ・スクールなどを通じ、**学校運営に参画いただく** ✓ **学校行事や業務の見直しへのご理解**
- ✓ 学校以外が担うべき業務の**役割分担の見直しへのご協力**(登下校の見守り、学校ボランティアへの応募など)

※ **教職員とのより良い関係づくりにご配慮ください**

▲ 適切な表現・声量

怒鳴るなどの行動はお控えください

▲ 適切な要求

学校ができないことをご理解ください

▲ SNSでの拡散

先生や子供を傷つけるSNS投稿はお控えください

▲ 適切な時間内の御相談

ご相談は定時内に過度に長時間の御相談はお控えください

◆ 総 会 会 順

- 1 開会のことば
- 2 P T A会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 議長選出・議長登壇
- 5 協 議 1 3 : 4 5 (7 5 分)
 - ① 令和 7 年度 P T A会務報告
 - ② 令和7年度専門部活動報告
 - ③ 令和 7 年度 P T A決算報告
 - ④ 監査報告
 - ⑤ 令和 8 年度 P T A会務計画 (案)
 - ⑥ 令和8年度専門部活動計画 (案)
 - ⑦ 令和 8 度 P T A予算審議 (案)
 - ⑧ 令和 8 年度 P T A役員改選 (承認)
 - ⑨ その他
 1. 令和 7 年度 P T A役員被表彰者についての提案
 2. P T A規約改正についての提案
 3. 確認事項
- 6 議長降壇
- 7 表 彰
- 8 学校より
 - ① 教務部
 - ② 進路指導部
 - ③ 生徒指導部
 - ④ 事務部
 - ⑤ その他
- 9 閉会のことば

令和7年度 P T A 会務報告

月	日	校 内 活 動	月	日	校 外 活 動
4	8(火)	入学式			
	10(木)	兄弟・姉妹，未子調べ			
	10(木)	会計監査・新旧役員引継			
	18(金)	理事会・専門部会(1)①			
5	16(金)	PTA総会・運営委員会(2)①	5	10(土)	始良市PTA連絡協議会総会(始良公民館)
		水難事故防止月間		22(木)	県広報紙担当者会(県自治会館)
6	5(木)	歯科講話(1年)	6	14(土)	特別支援に関する研修会
	18(水)	第1回学校保健委員会 PTA列車指導		13(金)	地区PTAリーダー研修会
				28(土)	市PTAスポーツ交流会
				20(金)	始良伊佐地区高等学校PTA会員研修会
				27(金)	第1回始良市校外生活指導連絡会
7	18(金)	心肺蘇生法研修会議	7	6(日)	女性のつどい
	18(金)	PTA新聞発行		11(金)	R7公立高等学校募集定員策定地区説明会 始良市合同補導
8	29(金)	運営委員会(3) 校則検討委員会	8	21(木)	全国高等学校PTA連合大会 始良市合同補導
9					
10	17(金)	工業祭1日目 準備	10		
	18(土)	工業祭2日目			
11	15(土)	体育祭	11	9(日)	性に関する研修会(始良公民館)
	15(土)	運営委員会(4) PTA列車指導		21(金)	始良市四高校PTA役員交流会
				22(土)	県PTA活動研究委嘱公開 始良市PTA研修大会
				20(木)	鹿児島県生活指導研究協議会 第2回始良市校外生活指導連絡協議会
12	24(水)	PTA新聞発行	12	21(日)	家庭教育フェスティバル
1	21(水)	第2回学校保健委員会	1		
	23(金)	薬物乱用防止講座(1年)			
2	5(木)	運営委員会(5)	2	1(月)	地区生涯学習推進大会
	19(木)	理事会・専門部会②		21(土)	始良市生涯学習フェア
	27(金)	PTA新聞発行			第3回始良市校外生活指導連絡協議会
	6(金)	思春期講座(3年)			
2	27(金)	卒業式	3		

①：PTA総会

①：PTA理事会・専門部会

(1)：運営委員会

専門部 令和7年度の活動報告と反省

	各部の主な役割分担	令和7年度活動報告と反省
広 報 部	<p>努力目標 学校生活とともに、PTA活動を詳しく発信することによって、保護者と学校の繋がりを深める</p> <p>1 PTA新聞の編集・発行 2 校内外の研修会に参加</p>	<p>○活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の広報紙発行 ・県PTA広報紙担当者研修会出席 <p>○反省等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全デジタル化ができた。 ・PTA関連の内容に特化できた。 ・報連相はLINEで行った。 ・取材等はその時にやれる人が参加した。 <p>○課題・要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化で安心メール配信して欲しい ・保護者の負担をなるべく少なくした活動
生 活 指 導 部	<p>努力目標 地域と家庭で子どもの命を見守る</p> <p>1 街頭指導・列車添乗指導 2 校内外の生活指導研修会への参加 3 自転車通学生へのヘルメット着用の推進</p>	<p>○活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列車指導を実施した <p>○反省等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車のヘルメットの着用について、手に持っていることが多い ・校内外での研修会や列車指導等の日時連絡のミスがあり迷惑をかけました <p>○課題・要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット着用や並進等の指導強化 ・研修会の参加者への正確な連絡

	各部の主な役割分担	令和6年度活動報告と反省
保健部	<p>努力目標 生活リズムを整え、体調管理を各家庭でしっかり行う 携帯電話の使用について各家庭で「アフター 10 運動」に取り組む</p> <p>1 学校保健委員会との連携 2 生徒の健康管理研修及び広報活動 3 校内外保健関係研修会への参加</p>	<p>○活動報告 ・保健関係研修会に出席。</p> <p>○反省等 ・マスク着用が減ってしまい感染率が高くなっている ・携帯の使用については家庭でなかなか難しいので学校での指導ありがたい</p> <p>○課題・要望事項 ・今年度に引き続き安心安全メールでの保健だよりと検診結果の送信をお願いしたい ・校内での保健関係の研修内容がとてもいいので全保護者に研修の内容を送信して欲しい</p>
事業部	<p>努力目標 天候・感染症対策をしっかりして、多くの方に参加していただき楽しく活動する</p> <p>1 工業祭（バザー）・参加呼びかけ 2 校内外研修会への参加</p>	<p>○活動報告 ・研修会やバザーを通して充実した1年間を楽しく活動した ・工業祭2日目</p> <p>○反省等 ・値段の設定が難しそうだった ・売り切りを目標にしていたので安かった ・付箋よりシールが良い ・古い包装は新しくする</p> <p>○課題 ・PTA 総会でバザー品を集めて欲しい</p>

令和7年度 PTA会計決算書

〈 収 入 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	増 減	備 考
繰 越 金	740,321	0	740,321	0	前年度繰越金
会 費	3,039,600	0	3,048,100	8,500	月額340円×延8,965人(職員含む)
雑 収 入	508	0	60,752	60,244	県P連総合補償事務委託費, 預金利子 始良市校外生活指導連絡会謝金
合 計	3,780,429	0	3,849,173	68,744	

〈 支 出 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	残 額	備 考	
P T A 運 営 費	会 議 費	250,000	0	75,024	174,976	理事会・総務部会, 新旧役員会, 校則検討委員会 旅費等
	研 修 費	400,000	0	153,955	246,045	全P連大会参加費, 広報担当者研修会, 始良市P 連研修会参加費等
	行 事 費	570,000	0	333,319	236,681	体育祭・工業祭経費, 入卒式生花, スポーツ交流会経費 等
	補 導 費	20,000	0	17,000	3,000	合同補導費用
	通 信 費	10,000	0	4,050	5,950	切手代
	消 耗 品 費	500,000	0	390,847	109,153	PTA新聞, 県・全国PTA新聞, 卒業生胸章・ホルダー, 印 刷用紙・インク等
	負 担 金	500,000	0	442,460	57,540	県P連・市P連協議会負担金 全国P連賠償保険料等
	安 全 会 費	90,000	0	75,000	15,000	県PTA安全共済掛金
	慶 弔 費	200,000	0	176,617	23,383	会員の慶弔・転退職員記念品代
	雑 費	20,000	0	24,000	△ 4,000	学校関係者評価委員会謝金
	手 数 料	80,000	0	65,758	14,242	k-net口座振替等手数料, FB-WEB手数料
学 校 運 営 費	負担金及び 研 修 費	400,000	0	376,903	23,097	各種教科研究部会費, 資料代等
	環 境 衛 生 費	80,000	0	79,611	389	花苗, 冷水機点検費, 駐車禁止用ロードマーキング グライン材料費等
	消 耗 品 費	300,000	0	299,512	488	図書館雑誌, 学校説明会ポスター印刷代, 大型プ リンターインク, 寮学習机鍵等
	雑 費	60,000	0	59,742	258	校内行事補助等
設 備 維 持 費	修 繕 費	100,000	0	85,734	14,266	冷水機修理, 実習室照明器具LED取替
予 備 費	予 備 費	200,429	0	0	200,429	
合 計	3,780,429	0	2,659,532	1,120,897		

収入決算額		支出決算額		残 額
3,849,173	-	2,659,532	=	1,189,641 (次年度へ繰越)

令和7年度 学校振興費会計決算書

〈 収 入 〉

費 目	当初予算額	更正額	決算額	増 減	備 考
繰越金	359,740	0	359,740	0	前年度繰越金
会 費	993,600	0	987,240	△ 6,360	月額120円×延8,227件
雑収入	60	0	8,158	8,098	預金利子 生徒手帳等売上金
合 計	1,353,400	0	1,355,138	1,738	

〈 支 出 〉

費 目	当初予算額	更正額	決算額	残 額	備 考
整備費	200,000	0	199,887	113	樹木剪定・除草作業 体育館木製スノコ作成代等
旅費補助	180,000	133,576	313,576	0	生徒発表大会バス代 県内企業見学会バス代
活動援助費	820,000	△ 133,576	622,685	63,739	各種活動支援
芸術鑑賞会積立	100,000	0	100,000	0	
予備費	53,400	0	0	53,400	
合 計	1,353,400	0	1,236,148	117,252	

収入決算額 支出決算額 残 額
 1,355,138 - 1,236,148 = 118,990 (次年度へ繰越)

芸術鑑賞会積立金決算

(単位:円)

		収入	支出	
7年度	6年度末残額	111,094	/	3年に1度開催する芸術鑑賞会のため の積立金
	積立額	100,000	/	
	補助金等	0	/	
	預金利息	277	/	
	執行済額	/	0	
	計	211,371	0	

↓
収支残額: 次年度繰越

令和7年度 体育文化活動費会計決算書

〈 収入 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	増 減	備 考
繰越金	900,700	0	900,700	0	前年度繰越金
会 費	4,388,400	0	4,360,310	△ 28,090	月額530円×延8,227人
雑収入	400	0	15,420	15,020	預金利子 総合文化祭旅費補助金
合 計	5,289,500	0	5,276,430	△ 13,070	

〈 支出 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	残 額	備 考
体育活動費 (全国)	1,800,000	△ 582,331	816,240	401,429	弓道
体育活動費 (九州)	2,050,000	62,386	2,112,386	0	水泳部, 陸上部, 弓道部, ソフトボール部, 空手道, ハンドボール部
文化活動費	550,000	482,720	1,032,720	0	吹奏楽部定期演奏会補助費 写真部九州・全国大会経費 全国JPマイコンカーラリー 他
応援等諸費	200,000	426,725	626,725	0	ラグビーフットボール応援バス代, 横断幕
積立金	300,000	△ 300,000	0	0	予算不足により積立金無し
雑費	300,000	0	83,130	216,870	新人戦負担金振込手数料 体育館床メンテナンス剤 他
予備費	89,500	△ 89,500	0	0	
合 計	5,289,500	0	4,671,201	618,299	

収入決算額	支出決算額	残 額
5,276,430	4,671,201	605,229

全国・九州大会参加生徒旅費積立金決算

(単位:円)

		収入	支出	
7年度	6年度末残額	8,258,825	—	九州ラグビーフットボール大会 九州ハンドボール大会派遣費 予算不足のため積立金より支出
	積立額	0	—	
	預金利息	14,722	—	
	執行済額	—	1,559,612	
	計	8,273,547	1,559,612	

↓
収支残額: 次年度繰越

令和7年度 進路指導費会計決算書

〈 収 入 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	増 減	備 考
繰越金	727,708	0	727,708	0	前年度繰越金
会 費	2,152,800	0	2,139,020	△ 13,780	月額260円×延8,227件
雑収入	92	0	1,612	1,520	預金利子
合 計	2,880,600	0	2,868,340	△ 12,260	

〈 支 出 〉

費 目	当初予算額	更 正 額	決 算 額	残 額	備 考
消耗品費	100,000		97,725	2,275	名刺印刷, セキュリティソフト, ミーティングテーブル 教職員録等
通 信 費	120,000	12,000	131,688	312	電話代, 郵送料
旅 費	1,040,000	△ 12,000	597,068	430,932	卒業生追跡指導及び職場開拓 (下記旅費内訳書のとおり)
進学指導費	200,000		198,229	1,771	進路手帳・バトンノート, 資格・検定試験の案内等
手 当	1,390,000		1,186,052	203,948	進路指導書記1名
雑 費	20,000		11,114	8,886	来客用お茶, 進路指導書記健康診断検査費用
予 備 費	10,600		0	10,600	
合 計	2,880,600	0	2,221,876	658,724	

旅費内訳

科 名	当初予算額	更 正 額	決 算 額	残 額	備 考
建 築 科	130,000	0	103,399	26,601	県内・関東・関西・九州北部企業訪問
工業化学科	130,000	0	0	130,000	
土 木 科	130,000	0	0	130,000	
電 気 科	130,000	0	103,523	26,477	
機 械 科	260,000	0	218,198	41,802	
電 子 科	130,000	35,368	165,368	0	
本 部	130,000	△ 47,368	6,580	76,052	
合 計	1,040,000	△ 12,000	597,068	430,932	

収入決算額	支出決算額	残 額
2,868,340	2,221,876	646,464
—	=	(次年度へ繰越)

監査実施報告書

下記会計について、関係書類を監査した結果、適正に処理されていると認めました。

令和8年4月9日

監事

永尾 正人 

監事

壹岐 真示 

監査した項目

- ・令和7年度PTA会計
- ・令和7年度学校振興費会計
- ・令和7年度体育文化活動費会計
- ・令和7年度進路指導費会計
- ・令和7年度空調会計
- ・令和7年度1年学級会計
- ・令和7年度2年学級会計
- ・令和7年度3年学級会計
- ・令和7年度新入生一括徴収金会計
- ・令和7年度生徒会会計

1 協議・承認事項

- ・ 令和8年度PTA会務計画（案）について
- ・ 令和8年度PTA専門部活動計画（案）について
- ・ 令和8年度PTA会計予算（案）について
- ・ 令和8年度PTA役員（案）・学級理事（案）について
- ・ その他

(1) PTA被表彰者について提案

・ 総務部関係			3年以上理事さん	
会長	旧E3	砂坂隆浩さん	旧M31	淋 由美さん
副会長	旧C3	田代明子さん	旧M32	永田貴子さん
副会長	旧A3	永田裕美さん		
副会長	旧M31	大迫孝子さん		
副会長	旧M32	東 里美さん		
専門部長	旧M31	小川ゆかりさん		
専門部長	旧R3	稲本由紀さん		

PTA表彰規定（抜粋）

- 1 本会会則第6章・第20条に基づき表に必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 この規定に要する費用は、PTA歳出予算の慶弔をもって充てる。
 - (1) 表彰者には、表彰状及び記念品（原則5,000円程度の焼き物など）贈る。
- 3 この規定は次の項目に該当する場合に適用し、総会に於て表彰する。
 - (1) 会長・副会長・専門部長が辞任のとき。
 - (2) 理事・監事として、連続3年以上献身的に本会の運営に協力した者。
 - (3) 以上の各項目に該当しない会員または会員以外の者で、本会の運営に協力し特にその功績が顕著であった者。

(2) PTA規約改定について提案

- ・ これまでの総務部、専門部での長年の反省で専門部の「生活指導部」と「保健部」の仕事内容が他の専門部に比べて少なく二つの専門部をまとめて「生活保健部」として活動していけないかという提案です。各クラスの生徒数も減少していて学級理事さんの選出にも大変苦慮している状況もあって今回の提案になります。次ページ以降に改定案示してあります。

令和8年度 P T A 会務計画 (案)

月	日	校 内 活 動	月	日	校 外 活 動
4	8(水)	入学式			
	9(木)	会計監査・新旧役員引継			
	10(金)	兄弟・姉妹末子調べ			
	16(木)	理事会・専門部会①			
5	14(金)	PTA総会①・運営委員会(2) 水難事故防止月間	5	9(土)	始良市PTA連絡協議会総会(始良公民館) 県広報紙担当者会(県自治会館)
6	上旬	歯科講話(1年)	6		特別支援に関する研修会
	上旬	第1回学校保健委員会 PTA列車指導			地区PTAリーダー研修会 九州地区高等学校PTA連合会大会
	5(金)	運営委員会(3)			
	19(金)	始良伊佐地区高等学校PTA 連絡協議会会員研修会(主催)			市PTAスポーツ交流会 第1回始良市校外生活指導連絡会
7		PTA新聞発行 心肺蘇生法研修会	7		女性のつどい R8公立高等学校募集定員策定地区説明会 始良市合同補導
8	下旬	運営委員会(4)	8		全国高等学校PTA連合大会 始良市合同補導
9	5(土)	体育祭			
10	30(金)	工業祭1日目 準備	10		ハートフルあいらんど(始良公民館)
	31(土)	工業祭2日目 バザー			
11	上旬	運営委員会(5) PTA列車指導	11		性に関する研修会(始良公民館) 始良市四高校PTA役員交流会 県PTA活動研究委嘱公開 始良市PTA研修大会 鹿児島県生活指導研究協議会 第2回始良市校外生活指導連絡協議会 家庭教育フェスティバル
12	25(金)	PTA新聞発行	12		
1		第2回学校保健委員会 薬物乱用防止講座(1年)	1		
2	9(火)	運営委員会(6)	2		地区生涯学習推進大会
	16(火)	理事会・専門部会②			始良市生涯学習フェア
	下旬	思春期講座(3年)			第3回始良市校外生活指導連絡協議会
3	1(月)	卒業式 PTA新聞発行	3		始良市合同補導

① : P T A 総会

①② : P T A 理事会・専門部会

(※) : 運営委員会

令和8年度 各専門部 活動計画（案）

● 広報部

努力目標

学校の魅力を保護者の視点から発信する PTA 新聞を作る

活動内容

- 1 P T A新聞の編集・発行
- 2 校内外の研修会への参加

● 生活指導部

努力目標

地域と家庭で子どもの命を見守る

活動内容

- 1 校外指導・列車指導
- 2 校内外の生活指導研修会への参加
- 3 自転車通学生へのヘルメット着用の推進

● 保健部

努力目標

- ・生活リズムを整え、体調管理を各家庭でしっかり行う。
- ・携帯電話の使用について、各家庭で「アフター10運動」に取り組む。

活動内容

- 1 学校保健委員会との連携
- 2 生徒の健康管理研修及び広報活動
- 3 校内外保健関係研修会への参加

● 事業部

努力目標

工業祭バザーを楽しもう！

活動内容

- 1 工業祭（バザー）への参加・呼びかけ
- 2 校内外研修会への参加

令和8年度 PTA会計予算書(案)

〈 収 入 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
繰 越 金	1,189,641	740,321	449,320	前年度繰越金
会 費	2,574,000	3,039,600	△ 465,600	300円×715(630P戸数+職員85)×12月
雑 収 入	609	508	101	預金利子等
合 計	3,764,250	3,780,429	△ 16,179	

〈 支 出 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考	
P T A 運 営 費	会 議 費	200,000	250,000	△ 50,000	各部会, 新聞編集委員会, 学級PTA補助等
	研 修 費	350,000	400,000	△ 50,000	全高P連・九高P連・地区高P連研修会等
	行 事 費	570,000	570,000	0	PTAスポーツ交流会経費, 体育祭・工業祭経費, 入卒式生花 等
	補 導 費	20,000	20,000	0	校外生活指導費用
	通 信 費	10,000	10,000	0	切手代
	消 耗 品 費	480,000	500,000	△ 20,000	PTA新聞, 県・全国PTA新聞, 卒業式胸章, ホルダー, 印刷用紙 等
	負 担 金	490,000	500,000	△ 10,000	県・市P連負担金, 全国P連賠償保険料
	安 全 会 費	90,000	90,000	0	県PTA安全互助会費
	慶 弔 費	200,000	200,000	0	会員の慶弔・転退職員記念品代
	雑 費	50,000	20,000	30,000	学校評価委員・教育相談講師謝金等
	手 数 料	285,000	80,000	205,000	k-net口座振替等手数料, FB-WEB手数料
学 校 運 営 費	負 担 金 及 び 研 修 費	400,000	400,000	0	各種教科研究部会費, 教科研究大会資料代等
	環 境 衛 生 費	80,000	80,000	0	校内環境整備花苗・肥料代 等
	消 耗 品 費	300,000	300,000	0	図書館雑誌, 学校説明会ポスター印刷代等
	雑 費	60,000	60,000	0	校内行事補助 等
設 備 維 持 費	修 繕 費	100,000	100,000	0	
予 備 費	予 備 費	79,250	200,429	△ 121,179	
合 計	3,764,250	3,780,429	△ 16,179		

令和8年度 学校振興費会計予算書(案)

〈 収 入 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
繰 越 金	118,990	359,740	△ 240,750	前年度繰越金
会 費	2,106,000	993,600	1,112,400	月額270円×650名×12月
雑 収 入	510	60	450	預金利息
合 計	2,225,500	1,353,400	872,100	

〈 支 出 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
整 備 費	300,000	200,000	100,000	樹木選定・除草作業補助 花苗購入費 他
旅 費 補 助	400,000	180,000	220,000	県内企業見学会バス代 生徒発表大会バス代
活 動 援 助 費	1,400,000	820,000	580,000	楽器調整, 自由工作・出前授業・もの作り支 援・学校訪問等体験事業支援・百花繚乱ソフ ト
芸 術 鑑 賞 会 積 立	100,000	100,000	0	
予 備 費	25,500	53,400	△ 27,900	
合 計	2,225,500	1,353,400	872,100	

(再掲)芸術鑑賞会積立基金

		収入	支出	
令和8年度	7年度末残額	211,371	/	3年に1度開催する芸術鑑賞会のため の積立金
	積立額	100,000	/	
	預金利息	300	/	
	執行済額	/	0	
	計	311,671	0	
				311,671

令和8年度 体育文化活動費会計予算書(案)

〈 収 入 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
繰 越 金	605,229	900,700	△ 295,471	前年度繰越金
会 費	4,524,000	4,388,400	135,600	月額580円×650名×12月
雑 収 入	771	400	371	預金利息等
合 計	5,130,000	5,289,500	△ 159,500	

〈 支 出 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(A)	増 減(A)-(B)	備 考
体育活動費 (全国)	1,300,000	1,800,000	△ 500,000	インターハイ等全国大会出場旅費補助
体育活動費 (九州)	2,200,000	2,050,000	150,000	九州大会出場旅費補助
文化活動費	600,000	550,000	50,000	ものづくり活動・吹奏楽地域活動補助等
応援等諸費	500,000	200,000	300,000	全校応援経費
積立金	300,000	300,000	0	全国大会等出場のための旅費等積立
雑 費	200,000	300,000	△ 100,000	部活動環境整備等
予 備 費	30,000	89,500	△ 59,500	
合 計	5,130,000	5,289,500	△ 159,500	

全国・九州大会参加生徒旅費積立金

(単位:円)

		収入	支出	
令和8年度	7年度末残額	6,713,935	/	
	積立額	300,000	/	
	預金利息	10,000	/	
	執行済額	-	0	
	計	7,023,935	0	7,023,935

令和8年度 進路指導費会計予算書(案)

〈 収 入 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
繰越金	646,464	727,708	△ 81,244	前年度繰越金
会 費	2,340,000	2,152,800	187,200	月額300円×650名×12月
雑 収 入	536	92	444	預金利子等
合 計	2,987,000	2,880,600	106,400	

〈 支 出 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
消耗品費	150,000	100,000	50,000	印刷用紙, 名刺印刷代
通 信 費	140,000	120,000	20,000	電話料, 切手代
旅 費	1,080,000	1,040,000	40,000	卒業生追跡指導及び職場開拓 (下記内訳書のとおり)
進学指導費	230,000	200,000	30,000	進路指導用資料, ポートフォリオノート等
手 当	1,340,000	1,390,000	△ 50,000	進路指導事務補助員賃金等
雑 費	20,000	20,000	0	労働保険料, 来客用茶葉等
予 備 費	27,000	10,600	16,400	
合 計	2,987,000	2,880,600	106,400	

旅費内訳

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
建 築 科	135,000	130,000	5,000	福岡, 大阪・名古屋・東京方面企業訪問 県内企業訪問旅費
工業化学科	135,000	130,000	5,000	
土 木 科	135,000	130,000	5,000	
電 気 科	135,000	130,000	5,000	
機 械 科	270,000	260,000	10,000	
電 子 科	135,000	130,000	5,000	
本 部	135,000	130,000	5,000	
合 計	1,080,000	1,040,000	40,000	

令和8年度 学校空調会計予算書(案)

〈 収 入 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
繰 越 金	1,671,358	484,306	1,187,052	前年度繰越金
会 費	1,764,000	3,720,000	△ 1,956,000	@200円×735人×12月 (生徒650と職員85)
雑 収 入	642	50,282	△ 49,640	預金利子
合 計	3,436,000	4,254,588	△ 818,588	

〈 支 出 〉

費 目	令和8年度(A)	令和7年度(B)	増 減(A)-(B)	備 考
電 気 保 守	90,000	79,200	10,800	電気設備点検
保 守 点 検	750,000	600,000	150,000	空調機点検・保守・清掃
電 気 料	800,000	800,000	0	
修 理 費	500,000	500,000	0	
積立金(空調更新費用)	1,000,000	500,000	500,000	校舎建替に伴う取外し・取付け工事等のための積立
雑 費	50,000	50,000	0	各種振込手数料
予 備 費	246,000	1,725,388	△ 1,479,388	
合 計	3,436,000	4,254,588	△ 818,588	

学校空調積立金

(再掲)

(単位:円)

		収入	支出	
令和8年度	7年度末残額	8,561,407		
	積立額	1,000,000		
	預金利息	15,000		
	執行済額			
	計	9,576,407	0	9,576,407

令和8年度 P T A 役員(案)

運営委員「総務部」

会 長	P2	岩下 陽太郎
副会長 (母親代表)	A3	町田 静
〃 (父親代表)	P3	池島 清輝
副会長 (事業)	A3	谷口 昌代
〃 (広報)	R3	松村 知恵
〃 (生活)	R2	東 香詳子
〃 (保健)	P1	田畑 佳菜
〃 (教頭)	教頭	増田 貴裕
専 門 部 長		
広 報 部	R2	池畑 ともよ
生活指導部	E2	坂口 愛子
保 健 部	A2	古木 麻衣
事 業 部	E2	柚木 かおり
会 計	事務長	南 安洋
監 事	M31	藤谷 亜弥
〃	C3	福元 由美
顧 問	学校長	福岡 幸彦
学 校 理 事	電気	吉村 隆行
〃	地歴公民	三輪 孝子
〃	英語科	向井 若樹
〃	数学科	寺園 寿子

学 級 理 事

ク ラ ス 名	理 事	副 理 事
建 築 科 1 年	永山 久美子	櫻井 さくら
建 築 科 2 年	和田 逸美	有村 由佳
建 築 科 3 年	永尾 正人	柳川 育美
工 業 化 学 科 1 年	坂元 政昭	山口 さおり
工 業 化 学 科 2 年	薬師寺 静香	鮫島 成美
工 業 化 学 科 3 年	小山田 可奈	池田 真由美
土 木 科 1 年	肥後 京子	今藤 美樹
土 木 科 2 年	早淵 健一	水間 章
土 木 科 3 年	原田 貴子	吉留 美和
電 気 科 1 年	淋 由美	石元 優
電 気 科 2 年	安藤 和子	花牟禮 千恵子
電 気 科 3 年	山下 みちよ	新改 まなみ
機 械 科 1 年 1 組	藤田 智子	松原 あや
機 械 科 1 年 2 組	川床 あゆみ	石走 紗織
機 械 科 2 年 1 組	柞木 奈緒子	若松 織枝
機 械 科 2 年 2 組	江藤 敬子	白川 佐和子
機 械 科 3 年 1 組	岡本 舞	竹中 恵子
機 械 科 3 年 2 組	田平 ゆり	山崎 由香
電 子 科 1 年	千田 康代	平野 有紀
電 子 科 2 年	二宮 智子	畠中 加代
電 子 科 3 年	南田 隆行	八久保 ひとみ

6 役員に欠員が生じた場合には、必要に応じて会員の中から選出する。

(役員任期)

第8条1 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前条第6項(欠員による選出)の場合は、前任者の任期とする。

第3章 会議

(会議)

第9条 この会に下記の会議をおく。

- 1 総会 2 理事会 3 運営委員会 4 総務会 5 専門部会 6 学級PTA
- 7 学年PTA

(総会)

第10条1 総会は年1回開く。また、次の場合には臨時総会を開くことができる。

(1) 会長が必要と認め、理事会で了承された場合

(2) 会員の3分の1以上の請求があった場合

2 総会は会員の3分の2の出席(委任状を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数の賛成による。なお、議長は会員の中から選出する。

第11条 総会では、次の事項を決議する。

- 1 運営の基本方針 2 事業報告及び決算 3 事業計画及び予算 4 事業報告
- 5 会則の改正 6 その他必要事項

(理事会)

第12条1 理事会は、会長・副会長・専門部長・学級理事・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 理事会は、構成員の過半数(委任状を含む)の出席で成立し、議長は理事の中から選出する。

3 理事会の決議は、出席者の過半数の賛成を必要とする。賛否同数の場合は議長が決する。

4 理事会は、次の事項を決議する。

(1) 総会に提案する事項

(2) 会長・副会長・専門部長の選出

(3) その他必要な事項

(運営委員会)

第13条1 運営委員会は、会長・副会長・専門部長・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 運営委員会は、次の事項について審議する。

(1) PTA行事の企画・調整 (2) 予算の調整 (3) 理事会提出事項の審議

(4) 緊急事項の審議 (5) その他必要事項

(総務会)

第14条1 総務会は、会長・副会長・学校理事で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 総務会は、本会全般の企画・運営・調整を行う。

(専門部会)

第15条1 本会の目的達成の為、次の専門部会をおく。各専門部は、必要に応じて部会を開きそれぞれの活動に必要な事項について、立案・執行するものとする。

(1) 広報部

PTA新聞の発行、その他PTA活動等の情報発信

~~(2) 生活指導部~~

~~家庭・学校・地域における生活指導及び進路指導に関すること~~

(3) 事業部

研修・講演会等の企画・運営

~~(4) 保健部~~

~~生徒の体位・体力の向上と、学校保健の振興に関すること~~

2 各専門部は、学級理事をもって構成し、部長・副部長を置く。

3 各専門部は、部長が招集する。なお、活動状況は運営委員会に報告する。また、活動に当たっては、会長と連携を密にする。

第16条 各部会の運営はそれぞれの部会で定める。

第4章 会計

(会計)

第17条 この会の会費その他をもって充てる。

6 役員に欠員が生じた場合には、必要に応じて会員の中から選出する。

(役員任期)

第8条1 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前条第6項(欠員による選出)の場合は、前任者の任期とする。

第3章 会議

(会議)

第9条 この会に下記の会議をおく。

- 1 総会
- 2 理事会
- 3 運営委員会
- 4 総務会
- 5 専門部会
- 6 学級PTA
- 7 学年PTA

(総会)

第10条1 総会は年1回開く。また、次の場合には臨時総会を開くことができる。

- (1) 会長が必要と認め、理事会で了承された場合
- (2) 会員の3分の1以上の請求があった場合

2 総会は会員の3分の2の出席(委任状を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数の賛成による。なお、議長は会員の中から選出する。

第11条 総会では、次の事項を決議する。

- 1 運営の基本方針
- 2 事業報告及び決算
- 3 事業計画及び予算
- 4 事業報告
- 5 会則の改正
- 6 その他必要事項

(理事会)

第12条1 理事会は、会長・副会長・専門部長・学級理事・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

- 2 理事会は、構成員の過半数(委任状を含む)の出席で成立し、議長は理事の中から選出する。
- 3 理事会の決議は、出席者の過半数の賛成を必要とする。賛否同数の場合は議長が決する。
- 4 理事会は、次の事項を決議する。

- (1) 総会に提案する事項
- (2) 会長・副会長・専門部長の選出
- (3) その他必要な事項

(運営委員会)

第13条1 運営委員会は、会長・副会長・専門部長・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 運営委員会は、次の事項について審議する。

- (1) PTA行事の企画・調整
- (2) 予算の調整
- (3) 理事会提出事項の審議
- (4) 緊急事項の審議
- (5) その他必要事項

(総務会)

第14条1 総務会は、会長・副会長・学校理事で構成し、必要に応じて会長が招集する。

2 総務会は、本会全般の企画・運営・調整を行う。

(専門部会)

第15条1 本会の目的達成の為、次の専門部会をおく。各専門部は、必要に応じて部会を開きそれぞれの活動に必要な事項について、立案・執行するものとする。

- (1) 広報部
PTA新聞の発行、その他PTA活動等の情報発信
- (2) 生活保健部
生徒の生活指導及び進路指導に関すること
学校保健の振興に関すること
- (3) 事業部
研修・講演会等の企画・運営

2 各専門部は、学級理事をもって構成し、部長・副部長を置く。

3 各専門部は、部長が招集する。なお、活動状況は運営委員会に報告する。また、活動に当たっては、会長と連携を密にする。

第16条 各部会の運営はそれぞれの部会で定める。

第4章 会計

(会計)

第17条 この会の会費その他をもって充てる。

令和8年度 教務部

1 本校の特色ある教育活動

本校は、創立116年の歴史と伝統を未来に繋ぐ意欲と創造力を育てる教育を目指している工業系専門高校です。生徒たちは、加治木工業高校生としての誇りを胸に日々充実した高校生活を過ごしています。また伝統的にあいさつが素晴らしく、礼儀正しい生徒たちが多く知られています。

本校では校訓である『自主・向学・勤労』を三つの柱として、特色ある教育活動に取り組んでいます。生徒、保護者、地域の皆様から「生徒の生きる力を伸ばし、一人ひとりの夢や進路を実現して欲しい」との期待に応えるべく、文武に秀でた力を引き出し、可能性を伸ばす教育を推進して参ります。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

2 基本的生活習慣の確立・・・『自主』

- (1) 遅刻しない 8時40分までに教室に入るようにしましょう。・・・他者に対する配慮
※ JR通学生： 鹿児島方面からは加治木駅 7:50着までに乗車
国分方面からは加治木駅 8:26着までに乗車
- (2) 欠席しない 欠席の場合は必ず保護者の方が連絡してください。・・・信頼関係の構築
- (3) 早退しない 病院等の予約は放課後に入れてもらうようにしてください。あらかじめ早退することがわかっている場合は、事前に担任へ連絡して下さい。
・・・体調の自己管理と時間の有効活用
- (4) 本を読もう 本校では今年度より、R&Bタイムの中で、朝読書を実施しています。
本年度は4月15日(水)から開始しています。・・・知的欲求の喚起と充足
ア 読書の時間を確保することによって、知的興味・関心を喚起させます。
イ 朝の読書によって静かな落ち着いた雰囲気の中で授業に入り、集中できます。
ウ 各自、自宅から読みたい本を持って来るか、または図書館の書籍を利用できます。

3 学習への取り組み・・・『向学』

専門高校の教科には共通教科（普通教科）と専門教科があります。1年生では主に共通教科を多く学びますが、学年が上がるとともに専門教科も増えていきます。また高校は中学校と異なり、各教科・科目の単位を履修・修得する必要があります。

- (1) 単位取得の条件
ア 履修について
i 授業に出席することが大切です。欠席が多いと認められません。
ii 授業への参加の態度、課題の提出など学習意欲が認められること。
イ 修得について
各教科・科目において單元ごとに各観点をA・B・Cで評価します。

観点1 知識・技能（技術）

観点2 思考・判断・表現

観点3 主体的に学習に取り組む態度

この3つの観点の評価の達成度により、5段階評定（5 4 3 2 1）で総括します。

評定1でないことが修得の条件です。

(2) 特別活動

金曜日 6校時 LHR（全学年）

(3) 定期考査(予定)

1学期 期末考査 6/23(火)～26(金) 4日間

2学期 期末考査 11/24(火)～27(金) 4日間

3学期 学年末考査 3年生: 1/26(火)～29(金) 4日間

1・2年生: 2/16(火)～19(金) 4日間

(4) 課題・実力考査（予定）

1学期 課題考査 4/10(金) 1日間, 実力テスト 6/3(水)～4(木) 2日間【3年のみ】

2学期 課題考査（1・2年生のみ: 9/8(火)～9(水) 2日間）

3学期 課題考査（1・2年生のみ: 1/12(火)～13(水) 2日間）

(5) 学習指導の手立て

ア 学期末において欠点（1年: 評定1に該当する）科目が3科目以上ある場合
保護者同席のもと、成績に関する指導を行います。

イ 成績不振の生徒

学期ごとに再考査や課題提出などの指導を行います。

(6) 資格検定取得について

資格取得も奨励しています。令和7年度は全国ジュニアマイスター称号183名（特別表彰15名を含むゴールド65名、シルバー69名、ブロンズ49名）が称号を取得しています。また6年連続で全国上位30校に贈られる学校賞も受賞し、生徒の頑張りが結果にも表れました。

4 各種行事等への参加・・・『勤労』

生徒と職員が共に行事に取り組み、PTAや同窓会のサポートのもと活動していきます。積極的な活動を通して責任感や協調性を身につけ、多くの感動を経験し成長していきましょう。

(1) 学校行事について

体育祭 9/5(土) 予定

工業祭 10/30(金)～31(土)【一般公開日は10/31(土)】 予定

クラスマッチ 1・2学期 スポーツ交歓大会 3学期

特別支援学校や小中学校との連携行事 など

(2) その他の行事

一日体験入学(中学3年生対象) 夏休み期間 予定

出校日 8/19(水), 同窓会本部総会 10/17(土)

(3) 全校朝礼 月1回(火曜日), 学年朝礼(学期1~2回), 科朝礼 各科ごと(学期1~2回)

5 その他

本校の特色の一つに、部活動が非常に活発であることがあげられます。授業だけでは学べない多くのものを部活動等で体得し、社会人に求められる資質の基礎を身につけていきます。

『苦しいこと』や『思い通りに行かないこと』に諦めず取り組むことで、身体のみならず精神的にも鍛錬されていきます。このことは、工業高校の生命線でもある『ものづくり』にもいえることです。課題を見つけその克服や改善に向け真剣に取り組む続けることで、『創意・工夫』が生まれ、技術力が向上します。これからの長い人生を豊かに送るため、本校で、必死に打ち込めるものを見つけてほしいと思います。加治木工業高校の学び舎を巣立った先輩方が日本各地の企業でリーダーとして活躍しています。全ては生徒たちの未来のために、私たち教職員も全力でサポートします。



令和8年度 進路指導部

1 はじめに

新型コロナによる制約もなくなり、生徒の皆さんは学校行事や部活動に思う存分取り組めるようになりました。

最近の選考試験では、進学・就職問わず、従来のペーパー試験や面接に加え、「どのような高校生活を送ってきたか」といった高校生活の内容が重視されてきています。このことは、高校で打ち込んだことや成長してきた過程が評価されるようになってきていることを表します。

自ら目標を設定し、それに向かって計画を立て実践していく力(自己管理能力)を身につけることが、生徒の皆さんに求められます。高校3年間の限られた貴重な時間を有意義に活用して自分を磨き、1日1日を充実させた高校生活を積み重ね自分を成長させ、自信を持って進学試験・就職試験に臨める実力を身につけて進路を実現させましょう。

2 令和7年度の進路状況

(1) 求人状況について

昨年度は過去最高の求人件数となりました。近年の人手不足により多くの人数を採用する動きがあり、活発な採用活動が行われております。都市部では専門高校の進学率が上昇していることから就職希望者数が減少してきており、地元の高校だけに求人をかけても採用予定数の確保には全く届かないため、県外に求人依頼校を広げており、「初めて鹿児島県に求人を出しました」という事業所が多くありました。

しかし、どこの学校でもいいということではなく、企業側は求人をかける学校を選んでお話を持ってきてくださっています。多くの学校の中から、加治木工業高校を選んでくださる理由には、本校の長い歴史と伝統により育まれた生徒の皆さんへの大きな期待があることを感じます。

多くの企業の中から自分の力を生かせる会社を見つけ出し、挑戦することができる今の機会を生かすため、日頃の授業で確かな学力を身につけ、部活動で豊かな人間性を養い、自分に勝負できる実力をつけておくことが求められます。

表1 求人件数の推移

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
県外	1,998	2,121	1,963	2,126	2,476	2,686	3,118	3,521
県内	503	605	531	631	743	819	822	830
合計	2,501	2,726	2,494	2,757	3,219	3,505	3,940	4,351

表2 令和7年度各科の進路決定状況

学科			建築科			工業化学科			土木科			電気科			機械科			電子科			合計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
クラス人数			27	13	40	21	9	30	35	2	37	38	0	38	75	1	76	32	3	35	228	28	256	
就職	企業	県内	6	4	10	5	4	9	9	1	10	6		6	19	1	20	10		10	55	10	65	
		県外	8	4	12	9	2	11	15	1	16	24		24	40		40	14	1	15	110	8	118	
	公務員	県内							2		2	2		2	2		2				6	0	6	
		県外	1		1	1		1	2		2			1	1						5	0	5	
	自己縁故	県内																				0	0	0
		県外																				0	0	0
自 営			1		1				1		1			1		1					3	0	3	
就職者合計			16	8	24	15	6	21	29	2	31	32		32	63	1	64	24	1	25	179	18	197	
進学	大 学		6	1	7				3		3	1		1	3		3	4		4	17	1	18	
	短期大学			3	3		1	1										1		1	1	4	5	
	高専編入																					0	0	0
	職能大等											1		1	1		1					2	0	2
	高技専等		1		1													1	1	2	2	1	3	
	専門学校等		4	1	5	5	2	7	3		3	4		4	8		8	2	1	3	26	4	30	
進学者合計			11	5	16	5	3	8	6		6	6		6	12		12	8	2	10	48	10	58	

(2) 進路指導状況について

[就職指導]

就職希望者には、前年度の求人票などの資料を2年生の早い時期から提供するとともに、企業見学やインターンシップ、企業説明会など企業について情報を得やすいようにしています。また、進路決定は3年生の4月に行われる三者面談、さらに7月の最終面談を通して、生徒および保護者と受験先を決定しています。

就職試験に対しては、過去の受験報告書をもとに、学力試験・面接試験に対応できるように1学期後半から2学期にかけて各科ごとに集中的に指導しています。

[公務員指導]

工業高校からは専門を生かした技術職で就職することができます。昨年度の技術職での合格は、国家公務員に2名、鹿児島県庁に2名が技術職で合格しています。技術職以外では、霧島市消防に1名、自衛隊に6名が合格しています。

公務員は一般の就職に比べると競争が激しくなります。また、採用試験は、一般知識だけでなく一般知能(数的推知・判断推理)といった公務員採用試験特有の試験、更に技術職の場合は専門科目の試験も実施されるので勉強する量は多くなります。したがって、本人のぶれない覚悟と計画的な学習が大切になります。

[進学指導]

昨年度進学した生徒は58名でした。上級学校に行かなければ取れない資格があり、その資格を持っているからこそ就ける仕事があります。進学には費用も必要になりますので家庭での話し合いを中心にしてしっかりとした検討と備えが必要です。受験先を決める場合はオープンキャンパス等に参加し、学部学科等の特徴、取れる資格、進路先、入試制度、入試内容、学費や修学支援金制度等また学力による特待生制度を設けている学校もあるのでこれらについて説明を聞き、また、施設設備の見学もして十分検討した後受験先を決める必要があります。合格するための対策だけではなく、入学後を見据えた早めの対策が重要です。

[検定課外]

工業科のそれぞれの専門学科が中心となり、資格・検定取得に取り組んでいます。1年時から計画的に受験することで、多くの資格・検定を取得しています。高校生では難関といわれる資格にも多数の生徒が挑戦しています。資格・検定に合格することは専門的な知識が深まることはもちろんですが、生徒の自信につながり、積極的に取り組む姿勢が身に付くので、企業や上級学校からの評判も高いです。昨年度も、本校はジュニアマイスター制度による全国上位30校に入り表彰を受けています。

3 各学年における進路指導について

(1) 1年生

1年生はLHR(金曜日実施)の時間を中心に、進路について学んでいきます。規則正しい生活をする事で欠席を減らし、学校行事や部活動・ボランティア活動などに積極的に参加することで人間的な魅力を身につけることを目指しています。また、クレペリンテストやレディネステストで自分を知る機会を設け、各学科の卒業生の体験談を聞く機会などを積極的に設けています。

(2) 2年生

2年生は10月にインターンシップを実施します。インターンシップは自分の適性を理解する絶好の機会です。自分が将来就きたいと思っている職種を実際に体験することで、その職種に向いているかを判断するとともに、その仕事について外部から見ただけではわからない部分を体験的に知ることを目的としています。県外企業へ就職を希望している場合でも、会社の規模等の違いはありますが、できるだけ同じ作業内容を体験できるインターンシップ先を提供できるようにしています。また、通うことが困難なケースについても霧島市等の支援事業があり、希望する企業での体験が可能となってきています。

(3) 3年生

3年生はいよいよ本番です。教育相談や家庭訪問及び三者面談を経て、受験先を決定し、内定通知や合格通知をもらうためには限られた時間を無駄にはできません。担任の指示のもと、精一杯頑張ってくれるものと思います。また、仮に不合格となった場合でも、その事実を乗り越えて次の目標設定ができるような強さも必要です。この時期は、生徒も将来について多くの悩みを感じますので保護者の助言が必要になってきます。

生徒と保護者の話し合いの時間を多く作り、家族で進路決定を迎えられるような指導助言をお願いします。進路決定後は、社会人へなるための自分磨きの時間も大切にしてください。

4 Handy進路指導室について

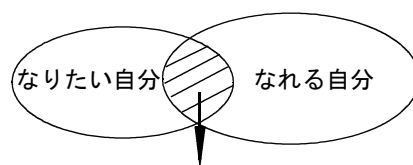
昨年度より求人票のデジタル管理を導入いたしました。紙の求人票をデジタル化し、生徒や保護者の皆様がPCやタブレット等の情報端末機器で検索・閲覧できるようにすることで、自宅でも企業研究を行えるようになりました。ただし利用する場合は生徒、保護者とも「利用上の注意」を守って利用していただく必要があります。

1・2年の保護者の皆様には2年次の2学期以降に案内いたします。

5 最後に

人気優良企業に就職が決まったからといって、一概にそのことが幸せな事とは限りません。企業の社風、求める人物像、そこに本人の興味関心、適性、性格などさまざまな要素が組み合っこそ充実した社会人生活につながります。

家庭と学校(担任)が連携を深め、豊かな進路実現を目指しましょう!



☆進路選択時の必要条件

【令和7年度 進路先一覧】

建 築 科

埼玉	(株)東京朝日ビルド	大阪	(株)鴻池組	県内	大平工業(株)
東京	(株)安藤・間 鹿島建設(株) 大和ハウス工業(株) 鉄建建設(株) (株)北洋建設	福岡	東洋シヤッター(株) (株)中道組 東洋シヤッター(株) (株)エネ・グリーン		(株)住宅性能評価センター 末重建設(株) 函南木材(株) (株)トータルハウジング (有)ハケ代建業 ヤマグチ(株)
大阪	(株)浅沼組	県内	赤瀬川建設(株) 内村建設(株)		

工 業 化 学 科

千葉	AGC(株)千葉工場 デンカ(株)千葉工場	福岡	沢井製薬(株)九州工場 (株)サンデリカ 福岡事業所 (株)新日本空調サービス福岡 朋和産業(株)福岡工場	県内	サンケイ化学(株) (株)静環検査センター (株)新日本科学 住友金属鉱山(株) 菱刈鉱山 大英建設(株) (株)外圍運輸機工
神奈川	AGC(株)相模工場 (株)イムラ 相模原工場 ENEOS(株)根岸製油所	県内	(株)オーリック不動産 京セラ(株)鹿児島国分工場 (株)サナス		
京都	ユニチカ(株)宇治事業所				
福岡	尾園建設(株)				

土 木 科

東京	大崎建設(株) 世紀東急工業(株) 東京水道(株) ユニオン建設(株)	福岡	九鉄工業(株)福岡本社 (株)クラフティア (旧 九電工) 西日本高速道路エンジニアリング九州(株) 西日本高速道路メンテナンス九州(株) (株)富士ピー・エス 三軌建設(株)	県内	コーアツ工業(株) (株)コバルト技建 ジャパンバイル(株) 鹿児島工場 (株)萩原技研 (株)馬込工務店 (株)森建設 (株)ヤマウ ヤマグチ(株)
愛知	中日本高速道路(株)				
大阪	奥村組土木興業(株) 西日本高速道路(株) (株)ムツミ	県内	(株)岩澤組 (株)クララ		

電 気 科

東京	東京電力パワーグリッド(株)	大阪	住友電気工業(株)大阪製作所 阪急電鉄(株)	福岡	(株)クラフティア (旧 九電工) 東芝エレベータ(株)九州支社 西日本プラント工業(株)
愛知	中部電力パワーグリッド(株)	福岡	(株)JR西日本新幹線テクノス (一財)九州電気保安協会 九州電力(株) (株)九電送配サービス (株)九電ハイテック	県内	(株)親和電機 南国殖産(株) (株)南電工 ホテルマネジメントインターナショナル(株)ホテル霧島キャッスル
大阪	関西電力(株) 関西電力送配電(株) (株)かんでんエンジニアリング 関電プラント(株) (株)さんでん				

機 械 科

栃木	(株)SUBARU航空宇宙カンパニー	大阪	山九(株) 関西支店	県内	(株)イケダパン (株)NBCメタルメッシュ 京セラ(株) 鹿児島国分工場 京セラ(株) 鹿児島川内工場 シズン時計マニファクチャリング(株) 鹿児島工場 (株)新日本科学 青雲荘 (株)ダイサン 竹子フルーツ (株)トヨタ車体研究所 (株)日特スパークテックWKS さつま工場 ネクサスプレジジョン(株) 鹿児島始良工場 肥薩おれんじ鉄道(株) (株)藤田ワークス マイクロカット(株) (株)ユピテル鹿児島
埼玉	本田技研工業(株) 埼玉製作所	兵庫	エーテック(株) プライムフレッツエナジー & ソリューションズ(株) 三菱重工業(株) 高砂製作所 JFEスチール(株) 西日本製鉄所 今治造船(株) 広島工場 内海造船(株) (株)神戸製鋼所 長府製造所 九州電力(株) 東芝エレベータ(株) 九州支社 トヨタ自動車九州(株) ヤンマーエネルギーシステム製造(株) 三菱重工業(株) 長崎造船所 ジャパンマリユナイテッド(株) 有明事業所 住友ゴム工業(株) 宮崎工場 (株)飯塚製作所		
千葉	ウォルテック(株) (株)荏原製作所 富津事業所	岡山			
神奈川	(株)荏原製作所 藤沢事業所 オイルス工業(株) 国土開発工業(株) 東芝エネルギーシステム(株) 京浜事業所 (株)牧野フライス製作所 厚木事業所	広島			
岐阜	ミズノテクニクス(株) 養老工場	山口			
愛知	(株)アドヴィックス (株)スガテック 名古屋支店 (株)デンソー トヨタ自動車(株) 日鉄テックスエンジ(株) 名古屋支店	福岡			
大阪	(株)クボタ	長崎			
		熊本			
		宮崎			
		県内			

電 子 科

千葉	丸善石油化学(株) 千葉工場	愛知	(株)豊田自動織機 トヨタ紡織(株)	県内	京セラ(株) 鹿児島国分工場 京セラ(株) 鹿児島隼人工場 住友金属鉱山(株) 菱刈鉱山 ソニーセミコンダクタマニファクチャリング(株) 南九州電機産業(株) (株)南日本情報処理センター
東京	ANAラインメンテナンステクニクス(株) (株)東芝 府中事業所 (株)日立システムズフィールドサービス	大阪	パナソニックエナジー(株) 守口 三菱電機(株) 電子通信システム製作所		
神奈川	東芝電波テクノロジー(株)	兵庫	(株)九州日立システムズ 今村電気(株) (株)A・R・P 鹿児島事業所 鹿児島空港ビルディング(株)		
愛知	(株)アイシン (株)デンソー トヨタ自動車(株)	福岡			
		県内			

公務員 11名

建築科	海上自衛隊(一般曹候補生)	土木科	鹿児島県庁(土木技術職)	機械科	航空自衛隊(一般曹候補生)
工業化学科	陸上自衛隊(自衛官候補生)	電気科	陸上自衛隊(一般曹候補生)		霧島市(消防吏員)
土木科	国土交通省九州地方整備局(土木技術職)		陸上自衛隊(自衛官候補生)		
	防衛省九州防衛局(土木技術職)	機械科	陸上自衛隊(一般曹候補生)		

大学 18名 ※進学 A建築、C工業化学、P土木、E電気、M機械、R電子 例(M2)は機械科2名を示す

大阪	大阪産業大学(A)	福岡	福岡大学(R)	鹿児島	鹿児島国際大学(A, R)
福岡	九州共立大学(P)		福岡工業大学(A, M)		志学館大学(A, P)
	久留米工業大学(A)	鹿児島	鹿児島大学(P, R)		第一工科大学(A2, E, M2, R)

短期大学 5名

大阪	関西外国語大学短期大学部(R)	鹿児島	鹿児島女子短期大学(A)
鹿児島	鹿児島県立短期大学(A2)		第一幼児教育短期大学(C)

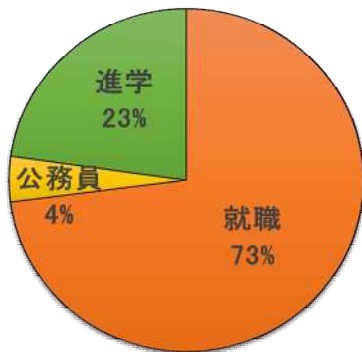
職業能力開発校等 5名

福岡	九州職業能力開発大学校(E)	鹿児島	宮之城高等技術専門学校(A)
鹿児島	川内職業能力開発短期大学校(M)		始良高等技術専門学校(R2)

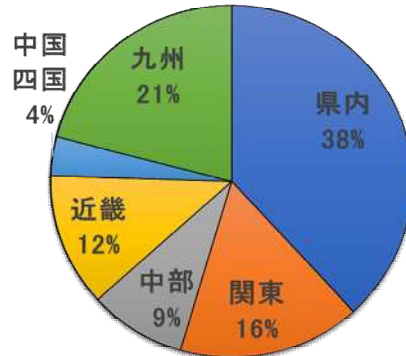
専門学校・他 30名

東京	日本工学院八王子専門学校(M)	福岡	麻生公務員専門学校(C)	鹿児島	鹿児島第一医療リハビリ専門学校(E, M)
	KADOKAWA7-メ・声優アカデミー-東京校(E)		飲食人大学(P)		龍桜高校保育専攻科(A)
	スポーツ健康医療専門学校(C)		専門学校福岡ビジュアル・アート(C)		鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
大阪	ECC国際外語専門学校(M)		福岡リゾート&スポーツ専門学校(M)		(C, P, E, M)
福岡	麻生外語観光&ブライダル専門学校(A)	鹿児島	KCS鹿児島情報専門学校(C2, R2)		今村学園ライセンスアカデミー(P)
	麻生建築&デザイン専門学校(A2, C)		鹿児島工学院専門学校(A)		鹿児島県美容専門学校(E, M)
	麻生工科自動車大学校(M)		鹿児島天文館デジタルカレッジ(R)		

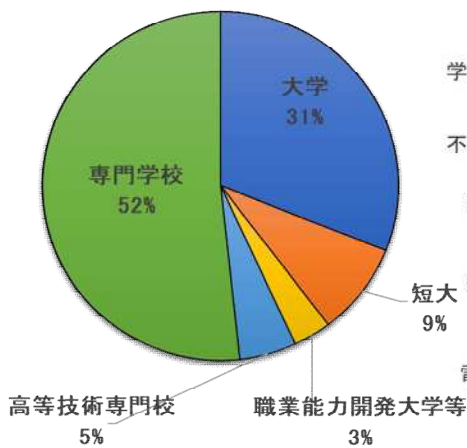
進路別割合



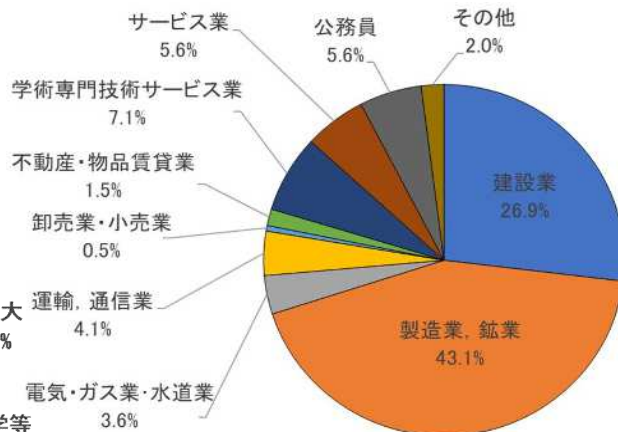
地域別割合



進学別割合



産業別割合



Handy進路指導室 利用上の注意事項

1. 個人情報の保護

個人のIDやパスワードは厳重に管理し、他人に漏らさないようにしてください。パスワードは定期的に変更し、強固なものを設定してください。

2. 求人情報の取り扱い

求人票については、「Handy進路指導室」のシステム上で閲覧するのみとし、スマートフォンなどの情報通信端末の画面保存機能を使用して保存しないでください。

3. 指定校求人管理

指定校求人が本校に在籍する生徒以外に漏れないよう、厳重に管理してください。なお、情報漏洩が発覚した場合は速やかに報告し、適切な対策を講じてください。

4. セキュリティ対策

スマートフォンなどの情報通信端末には最新のセキュリティパッチを適用し、ウイルス対策ソフトを導入してください。

5. ネットワークの安全性

公共のWi-Fiではなく、信頼できるネットワークを使用してください。

6. セッションの管理

「Handy進路指導室」の利用後は必ずログアウトし、他人に情報通信端末を貸す際にはセッションを終了してください。

7. フィルタリング機能の活用

不適切なコンテンツや不審なサイトへのアクセスを防ぐため、フィルタリング機能を積極的に活用してください。

令和7年2月21日
加治木工業高等学校
進路指導部

生徒指導部

生活指導関係

1 はじめに

本校の高い就職内定率や難関とされる国公立大学・公務員への合格は、県内においても他校から大きな目標とされています。本校生は、輝かしい伝統を胸に、日々の学習や資格取得、また部活動に自主的かつ積極的に取り組んでいます。合わせて、学校内外において自覚と責任を持った言動を心がけていることでしょう。ご家庭でのルールとともに、以下に述べる様々な事項を考慮頂き、お子さんにとって有意義な3年間となるようにご協力下さい。

2 過去の生活指導実態

(1) 飲酒・喫煙

未成年者の飲酒や喫煙は、法律で固く禁じられています。指導を受ける生徒は少なくなりましたが、根絶するには至っていません。一方で、発見されずに済んでいる生徒もいるはずで、「ルールを守る」ことをご家庭や地域社会が強く認識し、見逃さない態度が必要です。

(2) 窃盗・万引き

本校では授業によっては教室を移動する場合があります。その際は、教室に施錠をするなど防犯に努めています。それでも時折、物品や金銭の紛失があり窃盗が疑われる場合があります。中には、そうした紛失があっても申し出ない生徒がおり、実態が全て把握できているとは言えません。ご家庭でも「窃盗や万引きは犯罪である」と話をしてください。

(3) 不正乗車

JR通学生の中に改札で定期券を駅員にしっかりと呈示せずに通過する生徒がいます。期限切れの定期や他人の定期を貸借するなどは、立派な犯罪行為です。公共の交通機関を利用する際は、社会の一員としてマナーを守って欲しいものです。

(4) 深夜徘徊

県の条例で夜11時以降は外出禁止と定められています。また、生徒だけの外泊は絶対にさせないでください。

(5) 暴力・いじめ

他人に対する思いやる気持ちに欠けた行為で指導を受ける事例が発生しています。また、自己本位な考え方が先行し、周囲が困惑したり、他人に対する配慮に欠けた言動によるトラブルもあります。道徳教育は学校だけでなく、家庭教育のなかでもモラルや常識を教えて下さい。

(6) 無断アルバイト

年間に数件指導しております。原則としてアルバイトは禁止です。但し、特別に許可をする場合もありますので、安易に無断ですることがないように、まず担任や学科生徒指導係に相談をしてください。長期休業中に行う場合は、休業前に生徒へ手続きなどの連絡をします。生活指導係に申請してください。条件に照らし合わせて許可します。

また、3年生の自宅学習期間（2月）はアルバイトを認めることにしています。

(7) 男女間の不良交遊

携帯電話で簡単に個人情報を与え、不適切な関係をもって取り返しのつかない状況に陥るケースが発生しています。異性交遊及び携帯電話に関係する問題事例は、全国的に多発しており、大きな犯罪に巻き込まれたり、経済的に大きな損失をこうむる場合等があります。

(8) ネットトラブル

特に、スマートフォンによるネット上での誹謗中傷やネットいじめ、画像や動画の流失（児童

ポルノ)、フェイクポルノ、個人情報 の 流 失、ネッ ト 依 存 等、そ の 危 険 性 を 認 識 し な い ま ま 使 用 し て 被 害 者 と な る ば か り で な く、加 害 者 と な る 事 態 が 多 く 発 生 し て い ま す。最 悪 の 場 合 は、刑 事 事 件 に 発 展 し た り、高 額 の 損 害 賠 償 を 請 求 さ れ た り、進 学 や 就 職、結 婚 の 障 害 に な る 可 能 性 も あ り ま す。使 用 状 況 の 確 認 や フ ィ ル タ リ ン グ の 設 定、家 庭 内 ルー ル の 設 定 等 を 確 実 に 行 っ て 下 さ い。

【参考資料】我が家の携帯電話ルール（ベネッセ教育情報サイトより）

- 第1条 自分の電話番号やメールアドレスをむやみに教えない。
- 第2条 自分の電話番号やメールアドレスを教えたら相手は誰かを保護者に伝えること。
- 第3条 夜9時以降は携帯電話をさわらない。
- 第4条 勉強中、食事中は電話もメールもしない。
- 第5条 携帯電話の保管、充電場所は居間にする。
- 第6条 携帯電話は自分の部屋に持ち込まない。
- 第7条 必要のないサイトにアクセスしない。
- 第8条 おかしなメール、知らない相手からのメールは必ず保護者に見せる。
- 第9条 有料サイトの利用は保護者に相談して許可をとる。
- 第10条 会員登録等の個人情報登録は、有料無料に関係なく、保護者に許可をとる。
- 第11条 人の悪口は絶対に書かない。

3 家庭での留意点

本校生徒の「心身ともに健康で豊かな人間性」を育むために、以下の実践をお願いします。

(1) 本校を選び入学させた以上は、保護者も指導に参加する意識を持ってください。

学校へ預ければ自動的に子どもが一人前に育つわけではありません。本校の教育目標である「社会の発展に貢献できる社会人を育成する」の実践のためには、保護者の積極的な参画が必要不可欠です。

(2) 生徒の生活習慣が規律あるものになるようご協力ください。

学校に遅刻させない、忘れ物をさせない、シャツ出しをさせない、スカートを短くさせない、化粧をさせない、染色やピアスをさせない、朝食を必ず食べさせるなど基本的な生活習慣は家庭の責任において指導してください。

(3) テレビをつけっ放しで見せている家庭の子どもの学力は保証できません。

1日2時間以上つけっ放しで見せていると年間800時間以上となり、考える力に著しくダメージを与えます。さらには携帯電話も加わるとますます悪化します。テレビ視聴を1時間に抑え、自宅学習を1時間15分以上すれば、宅習時間が年間に400時間確保され確実に学習する態度が定着するでしょう。読書もご家庭でできるような環境作りをしてください。

(4) 携帯電話・スマホの利用状況を確認してください。

携帯電話・スマートフォンの利便性と危険性を十分に話し合い、持たせる際はフィルタリングを設定する（保護者の同意がなければ解除できません）、使用状況を確認する等の保護者の責任を十分にご理解下さい。また、家庭内でのルールを作って利用させて下さい。作ったルールは紙に書き出して家族が見る場所に貼ることや、友人にも家庭内ルールを伝えさせることも必要です。

(5) 不必要な単車は許可しない。

単車は、部活動をしていて条件に合致した者だけを認めています。なぜだめなのか、子どもに

は「あなたは、まだ大人としての事故の責任がとれないから、だめなのだよ」とはっきり伝え、同時に命大切さも諭してください。

また、無免許運転で警察に補導された場合は家庭裁判所からの通知から2年間は普通免許は取得できません。無免許幫助も同等の行政処分が下されますので、進路保障の面から大きな障害になります。

(6) 子どもに仕事を与えること、続けさせること。

本校では生徒会活動や部活動を通して、様々な奉仕作業を実施して地域の方々に喜ばれています。また、授業の一貫としてもインターンシップ（就業体験）を実施しています。ご家庭でも何か役割を与えてください。このような活動は職業意識の自然な醸成に必須です。

禁止事項

- 1 許可や申請のない運転免許(原付・自動二輪・普通自動車)の取得
- 2 夜間外出・深夜徘徊
- 3 友人・知人宅への外泊
- 4 ゲームセンター・インターネットカフェなど各種娯楽施設への出入り
- 5 未成年者に対する法で禁止されている事項(飲酒, 喫煙, パチンコ店出入り等)
- 6 万引きや窃盗行為
- 7 髪を染めたり, 眉を剃ったり, ピアスをすること
- 8 薬物(シンナー等), 水たばこや加熱式たばこの使用
- 9 ネットいじめや出会い系サイトの利用など

4 頭髪服装指導

(1) 実施方法

ア 原則として1ヶ月半に1回実施する。

イ 頭髪服装指導日の1週間前に、担任や部活動顧問・各科の生活指導係を通じて告知及び事前指導を行う。

ウ 全校(学年, 科)朝礼時に頭髪服装指導を実施する。

エ 1回目の頭髪服装指導で不合格の生徒は、1週間後にある頭髪服装再指導を受ける。

オ 頭髪服装再指導で不合格の生徒は、週末にある頭髪服装最終指導を受ける。

カ 頭髪服装最終指導で不合格の生徒は、生徒指導主任の面談を実施し改善を求める。改善がなされない場合は保護者同伴で来校し、今後の指導について生活指導係と協議を行う。

5 服装規定

(1) 学生服について

ア 男子

(ア) 冬服は学校指定の制服(上下学生服, 長袖カッターシャツ)とし、学生服襟の右側に校章, 左側に科章をつける。

(イ) 合服は冬服の学生服上衣を除いたものとする。

(ウ) 夏服は学校指定の半袖シャツと学生ズボンとする。

※ 学年別色分けについて(男女同じ)

令和8年度入学生…青色 令和6年度入学生…黄色 令和7年度入学生…赤色

※ 学科別イニシャル

A…建築科 C…工業化学科 P…土木科 E…電気科 M…機械科 R…電子科

イ 女子

- (ア) 冬服は学校指定の制服（ブレザー、スカートまたはスラックス、ブラウス、リボンまたはネクタイ）とし、ブレザーの胸ポケットに校章、左襟に科章をつける。
- (イ) 合服は冬服のブレザーを除いたものとする。
- (ウ) 夏服は学校指定の半袖ブラウスとリボンまたはネクタイ、スカートまたはスラックスとする。
- (エ) スカートの丈は膝頭が出る程度を基準とする。完全に膝が見えてはいけない。

ウ その他

- (ア) 学校指定制服等は、一切の変形を認めない。改造したものについては、元通り直すか再購入する。
 - (イ) 更衣の時期は各自の体調に合わせて着こなしをする。
 - (ウ) 校内では指定セーター姿を認めるが、儀式・集会時は必ず制服を着用する。また、指定セーター以外の防寒着着用は認めない。
- (2) ベルトについて
- ベルトは、幅3cm前後の黒・紺・茶系のものとする。（華美でないこと）
- (3) 肌着について
- 白・黒・紺・灰色で無地とする。ワンポイントは可。
 - ただし、襟元から見えてはいけない。
- (4) 制靴について
- ア 通学靴は屋外用運動靴、又は学校指定の黒色の革靴とする。
 - イ 屋外運動靴とは、下記条件を同時に満たす運動靴とする。
 - (ア) 靴の色は、白色を基調(全体の7割以上)とする。靴ひもの色は、白・黒・紺とする。
 - (イ) 紐付きで、紐を通す穴の数は1列で6～7穴程度のものとする。（マジックテープ式可）
 - (ウ) 靴底の厚さは3cm以下とする。
 - (エ) 靴の深さはくるぶし程度とする。
- (5) 靴下について
- ア 靴下については、白色を（ワンポイントは可）を基本とし、模様無し（無地）の黒・紺色・灰色も認める。
 - イ 女子生徒のハイソックス・ルーズソックス・くるぶしが隠れないスニーカーソックスは禁止。ただし、冬季は黒のタイツを使用してもよい。
- (6) 手袋およびマフラーについて
- ア 手袋については、華美でないものを使用してもよい。ただし、校舎内では着用しない。
 - イ マフラー・ネックウォーマーの色は黒・紺・茶・グレー・ベージュを基調とするものとする。ただし、校舎内では着用しない。
- (7) コート及びジャンパーについて
- ア 女子については、学校指定のスクールコートのみ認める。ただし、校舎内では着用しない。
 - イ 自転車及び単車通学生については、ウインドブレーカーを認める。ただし、駐輪場で脱ぎ、校舎内では着用しない。
- (8) カバン及び補助バッグについて
- ア カバンは、学校指定の黒色の学生カバンとする。
 - イ 補助バッグとして、スポーツバッグ・ナップサックを使用してもよいが、色・デザインとも華美でないものとする。ただし、補助バッグのみの登校は認めない。
- (9) 装飾品について
- ア ピアス・指輪・ネックレス等は使用しない。

イ 腕輪などひもを多数付けたりしない。

【制服等の修理や再購入に関する問合せ先】

男女科章，女子校章，男子冬服ボタン……校内売店（食堂の隣）

制服（女子リボン，ネクタイ含む），学生カバン…… エビスヤ（株）62-3131

6 頭髪規定

(1) 男子

ア 髪全体が整髪され，髪の長さは自然に静止した状態で，前髪は眉にかからない，後髪・横髪は耳・襟にかからないように短くする。【次のページ参照】

イ もみあげの長さは，耳の下のラインまでとする。【次のページ参照】

ウ 額をそりこまない。

(2) 女子

ア 髪の長さは，前髪は眉がかくれない，後髪は襟下までとする。襟下を超える場合はゴム（黒・紺・茶）で結ぶ。【次のページ参照】

イ 華美なヘアーピンの使用は禁止する。

(3) 男女共通

ア 染毛は禁止する。染毛やドライヤー等で髪を変色した場合は，変色がとれるまで短くする。（改善されるまで継続指導）

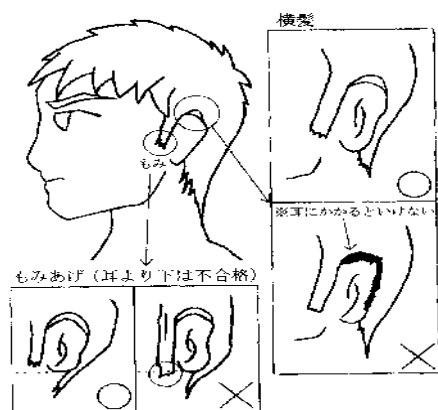
イ 段差を付けたり部分的に長さを変えるなどの奇異な髪型にしない。またパーマやアイパー，ドライヤーやコテ等によるウェーブやカールは禁止する。

ウ 眉毛はそろえる程度とし，細くそったり変形させたりしない。

エ 化粧品や香水等の使用や爪の着色は禁止する。

オ 規定に違反した場合は，生活指導係の指示に従うこと。

【男子の頭髪基準】



【女子の頭髪基準】



(4) 改正点の紹介 「明日，進路試験に向かってもいい髪型」

ア 男子の髪型に関しては，令和6年度より改訂されています。ツーブロック，フェードなどの緩和。ただし，奇抜な髪型は指導します。また，整髪料も使用可ですが，無香料のものでガチガチに固めないように。あくまでも自然で清潔感溢れる使用をお願いしたいと思います。

イ 女子に関しては，令和7年度より改訂しました。。ポニーテールの結ぶ位置を耳より上でも可，お団子や横髪が緩和されました。

7 許可・届け出を必要とする事項

外出，対外試合，異装，携帯・スマホ校内持込，アルバイト，旅行，校外活動（キャンプ・登山・サイクリング・集会・政治的活動等），原付免許の取得，単車・自転車通学，自動車学校への入校は許可・届け出が必要です。該当する場合は担任に相談して下さい。

8 その他確認事項

(1) 校内生活

- ア 8時35分までには教室に入るように登校する。（始業時刻は8時40分）
 - イ 登下校は必ず制服を着用する。冬服完全更衣期間は学生服，ブレザーを必ず着用する。また，校内においては指定セーター姿での生活を認める。
 - ウ 学校指定以外のセーターやカーディガン，トレーナー等の着用は認めない。
 - エ シャツ出しや腰パンスタイル，タオルを首や肩に掛る等の見苦しい服装等をしない。
 - オ 学生カバンは指示のない限り毎日持って登校する。補助バック（リュックサック，部活動バック）のみでは登校しない。
 - カ 教科書類は毎日持ち帰る。ただし，置いて良い教材を各教科で指示する場合がある。
 - キ 体育館シューズは学校（教室）に残してよい。
 - ク 実習服の管理については，各科の指導に従う。
 - ケ 校外への外出は，特別な場合（金融機関や印紙等の購入等）以外は認めない。
 - コ 携帯電話・スマートフォンの学校への持ち込みは，保護者から緊急連絡用として申請があった場合は規定の遵守を条件に許可制とする。規定違反については保護者来校，預かり等の指導を行う。
 - サ 学校生活や学習環境に不必要なものを持参しない。発見した場合，しばらく預かる場合もある。
- ### (2) 校外生活
- ア ゲームセンター，インターネットカフェなど娯楽施設への立ち入りは禁止する。またカラオケボックスなどの利用は保護者同伴で午後10時までとする。
 - イ 夜間外出，深夜徘徊，外泊をしない。
 - ウ アルバイトは，原則として長期休業中（年末年始の郵便局を含む），3年生自宅学習期間について許可条件に照らし合わせて許可制とする。新聞・牛乳配達等は，担任への届け出制とする。

9 終わりに

社会や集団は規律やモラルで成り立っています。生徒たちの校則やモラルに反する行為は社会生活でも通用しません。子供に安易に妥協せず，「耐える心」を育み，確かな「基本的生活習慣」を身につけさせるために保護者の皆様と連携して取り組んでいきたいと考えています。今後も本校の生徒指導方針に対するご理解とご協力をお願いいたします。

交通指導関係

1 基本方針

- (1) 歩行者と車輛（自転車・単車）使用者が交通安全を守り，健全な学校生活，社会生活が送れるようにするため規定項目を設ける。

- (2) 単車・四輪車運転免許の取得は制限する。
- (3) 通学に使用する単車は原則として許可しない。真にやむを得ない事情であることが認められる場合、所定の手続きにより使用を許可する。
- (4) 列車・バス等の公共交通機関利用者は、常に車内外（駅構内を含む）でルールを守り、利用者の公益、安全に奇与する。
- (5) 自転車通学生は、ヘルメットの着用を義務付ける。交通事故防止の観点と被害者加害者のいずれにもならない、安全第一の気持ちを高める。

2 規定要項（抜粋）

(1) 自転車の通学および使用について

ア 自転車通学距離は、学校までの生徒は2 km以上を原則とするが、部活動等を考慮して許可する。また、駅・バス停までの生徒も許可する。ただし、届出・許可制とする。

※ 車体検査の上、許可証を交付する

イ 自転車を使用する場合は、次の事項を守り安全につとめる。

- (ア) 自転車通学生は、許可証を自転車の後ろの泥除け部分に貼り付ける。
- (イ) 常に安全整備で使用する。
- (ウ) 並列走行を禁止する。
- (エ) 2人乗りを禁止する。
- (オ) 雨天時は雨カッパを着用する。（傘さし運転は危険行為であり禁止する）
- (カ) ハンドルに荷物を下げない。
- (キ) 交差点での右・左折時の注意を怠らず、また路上で斜め横断をしない。
- (ク) ドロップハンドル、片足スタンド等は禁止。後ろに荷台が付いていること。
- (ケ) その他の交通法規、交通道德を厳守する。
- (コ) 夕方以降の無灯火運転は禁止する。
- (サ) 防犯登録をしてあること。
- (シ) 二重ロックをすること。ただし、ハンドルロックは1つに数えない。

ウ 単車の通学使用について

- (ア) 通学は自転車通学の困難な地区で、公共交通機関の利用が不便な地区とする。（距離と道路状況を合わせて考慮し、許可・不許可の判断をする）
- (イ) 2.0 km以上の場合は原則として途中の駅、バス停留所までとする。
- (ウ) 通学用単車の排気量は50cc以下（スクーター型カブメイトを含む）とする。ただし、ムークラッチ型に限る。
- (エ) 単車を使用する場合は、次の事項を守り安全につとめる。
 - ① 単車通学生は許可証（プレート）を車体のナンバーの裏に取り付ける。
 - ② ヘルメット（通学用は原則として白色とする）を着用し、校章とステッカーの蛍光テープを貼る。
 - ③ 免許取得は通学用に限定して許可しているので、通学以外での使用は慎むこと。
 - ④ 単車（排気量の大小を問わず）の2人乗りは、通学時はもちろん、その他の場合でも禁止する。
 - ⑤ 常に安全整備で使用する。
 - ⑥ 自賠償保険加入済みの単車を使用する。また、任意保険にも極力加入することを勧める。
 - ⑦ 運転時は制服を着用する。
 - ⑧ 単車の貸借をしない。

⑨ 通学用単車の購入は、所定の手続きにより通学許可を取得してからにする。

⑩ その他の交通法規、交通道德を遵守する。

エ 運転免許受験および運転練習について

(ア) 単車運転免許受験については、下記の項目を遵守する。

① 単車運転免許試験を受験する場合は、保護者連署の上、学級担任に届け、担任・交通係の承認で許可される。

② 単車運転免許試験の受験は許可を受けた者で、夏・冬・春の長期休業中を利用する。
(高校入試期間中は許可しない)

③ 単車免許の受験は排気量50ccまでとし、自動二輪の受験は絶対に認めない。

(イ) 普通四輪車免許受験については、下記の項目を遵守する。

① 普通四輪車の教習開始は、第3学年の二学期末考査以降とする。その場合、平日は放課後からとし、夜間は19時30分以降を超えてはならない。

② 自動車学校入校を希望する者は、所定の手続きを経て許可される。

③ 運転免許の受験は、卒業式以降とする。

④ 自動車学校の入校手続きについては、各年度ごとに合同説明会を開催する。

⑤ 服装は常時制服とする。

⑥ 無許可バイク受験者に関して、自動車学校入校は卒業式後とする。

3 通学用自転車・単車の通学許可手続きについて

(1) 自転車を利用する者は、保護者連署の願いにより、担任・交通係の承認を経て許可される。

(2) 単車を利用する者は、保護者連署の願いにより、担任・交通係の承認を経て許可される。

4 道路交通法やここに定める規定事項に違反したり、事故を起こした場合には、速やかに学級担任にその旨、届け出ること。

5 指導措置

人命尊重と遵法精神を育成するために、道路交通法、規定事項に違反した者に対し次の指導措置を行う。

(1) 通学に自転車・単車を利用している者には、通学許可を取り消す事がある。

(2) 違反行為については交通係会で原案を作り職員会議で審議の上、学校長が決定し適切な指導をする。

生徒、保護者の皆さんへ

加治木工業高校 教育相談係

スクールカウンセリングの御案内

1 実施日（年20回）

①	4月23日(木)	②	5月12日(火)	③	5月21日(木)	④	6月9日(火)
⑤	6月18日(木)	⑥	7月3日(金)	⑦	7月10日(金)	⑧	9月10日(木)
⑨	9月17日(木)	⑩	10月9日(金)	⑪	10月22日(木)	⑫	11月5日(木)
⑬	11月12日(木)	⑭	11月19日(木)	⑮	12月10日(木)	⑯	12月17日(木)
⑰	1月14日(木)	⑱	1月21日(木)	⑲	2月3日(水)	⑳	2月9日(火)

2 時 間 13:30～16:30（1日3人程度）

3 場 所 生徒相談室（1棟1階 保健室隣）

4 カウンセラー ^{よしだ}吉田 ^{やすえ}泰江先生（臨床心理士 公認心理師）

5 申込方法 時間調整のため、事前予約が必要です。以下①～③のいずれかに連絡をしてください。

① 担任 ② 養護教諭（^{いおた}蘭牟田・^{うえの}上野） ③ 教育相談係（地歴公民科：^{みわ}三輪）

6 その他

- （1）生徒だけでなく、保護者の方の相談も受け付けています。
（面談希望が多い場合は、生徒優先）
- （2）面談希望者多数の場合、希望に添えない場合があります。
- （3）係から、各種相談機関・講演会等の御案内を差し上げることも可能です。



加治木工業高等学校
教育相談係
電話 0995 (62) 3166

1	4月23日(木)	2	5月12日(火)	3	5月21日(木)	4	6月9日(火)
5	6月18日(水)	6	7月3日(木)	7	7月10日(金)	8	9月10日(木)
9	9月17日(木)	10	10月9日(金)	11	10月22日(木)	12	11月5日(木)
13	11月12日(木)	14	11月19日(木)	15	12月10日(木)	16	12月17日(木)
17	1月14日(木)	18	1月21日(木)	19	2月2日(火)	20	2月9日(火)

- ① 4月23日(木) ② 5月12日(火) ③ 5月21日(木) ④ 6月9日(火)
 ⑤ 6月18日(水) ⑥ 7月3日(木) ⑦ 7月10日(金) ⑧ 9月10日(木)
 ⑨ 9月17日(木) ⑩ 10月9日(金) ⑪ 10月22日(木) ⑫ 11月5日(木)
 ⑬ 11月12日(木) ⑭ 11月19日(木) ⑮ 12月10日(木) ⑯ 12月17日(木)
 ⑰ 1月14日(木) ⑱ 1月21日(木) ⑲ 2月2日(火) ⑳ 2月9日(火)

加治木工業高等学校の皆さん、今年度も本校のカウンセラーとして勤めることになりました。「ながさと みく」と申します。皆さんの日常生活やこれからの人生がより良いものになるよう、一緒に考えていければと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ですが自己紹介をさせてください。私はこれまでに、10年間、学校や福祉施設で小学生～専門学校生と関わり、一緒に遊んだり勉強したり、困ったことがあった際にはどうしたらよいか一緒に考えてきました。その経験から思うことは、人は自分のことや自分の気持ちを分かっていないことが案外多いのだなということです。自分のことが分かってくると、安心したり、何か別の方法を思いついたり、またチャレンジする気力が湧いてきたりします。

何かに迷ったり躓^{つまづ}いたり、不安が大きくなったり、いつもと違う自分になったりする時は、自分のことを理解するチャンスでもあります。私はカウンセラーとして、そのための機会、スペース、時間を提供したいと考えています。どのようなことでも構いませんので、お気軽にお話しただけると嬉しいです。

現在は小・中・高等学校の他に、乳幼児の発達相談や、病院でのカウンセリング等も行っています。趣味は温泉めぐり、登山、音楽活動です。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

1学年 校納金等について

1 令和8年度校納金の徴収額(1学年)

学科	項目・納期	1期(5/25)	2期(6/25)	3期(7/27)	4期(9/25)	5期(10/26)	6期(11/25)	合計
建築	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	30,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	58,800
工業化学	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
土木	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
電気	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
機械	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
電子	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800

※ご指定の銀行口座から毎月25日に振替を行います。

(25日が金融機関の休業日になる場合は翌日(翌々日)となります。)

2 口座振替 年6回

1期 振替日 5月25日(月)

2期 振替日 6月25日(木)

3期 振替日 7月27日(月)

4期 振替日 9月25日(金)

5期 振替日 10月26日(月)

6期 振替日 11月25日(水)

※振替日前日までにご入金ください

(残高不足等で引き去りができなかった月は現金で事務室窓口に納入して頂きます。)

3 諸会費内訳

(1) 諸会費 (内訳は見込額。PTA総会で承認予定)

単位:円

諸会費	年 額	1ヶ月額	使 途
PTA会費	3,600	300	PTA活動費
学校振興費	3,240	270	芸術鑑賞・活動補助
体育文化活動費	6,960	580	対外試合遠征費
進路指導費	3,600	300	進路指導関係経費
空 調 費	2,400	200	空調電気料
生徒会費	9,000	750	生徒会活動費
計	28,800	2,400	

(2) 学級費

生徒個人が使用する教材及び資格検定試験等

(新入生の一括徴収金で不足の学級費として)

※年額(単位:円)

科	建築	工業化学	土木	電気	機械	電子
学級費額	30,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000

2学年 校納金等について

1 令和8年度校納金の徴収額(2学年)

学科	項目・納期	1期(4/27)	2期(5/25)	3期(6/25)	4期(7/27)	5期(9/25)	6期(10/26)	合計
建築	学級費	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	35,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	14,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	63,800
工業化学	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
土木	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	-	-	20,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	4,800	48,800
電気	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
機械	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	30,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	58,800
電子	学級費	10,000	10,000	10,000	5,000	5,000	5,000	45,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	14,800	14,800	14,800	9,800	9,800	9,800	73,800

※ご指定の銀行口座から毎月25日に振替を行います。

(25日が金融機関の休業日になる場合は翌日(翌々日)となります。)

2 口座振替 年6回

1期 振替日 4月27日(月)

2期 振替日 5月25日(月)

3期 振替日 6月25日(木)

4期 振替日 7月27日(月)

5期 振替日 9月25日(金)

6期 振替日 10月26日(月)

※振替日前日までにご入金ください

(残高不足等で引き去りができなかった月は現金で事務室窓口に納入して頂きます。)

3 諸会費内訳

(1) 諸会費 (内訳は見込額。PTA総会で承認予定)

単位:円

諸会費	年 額	1ヶ月額	使 途
PTA会費	3,600	300	PTA活動費
学校振興費	3,240	270	芸術鑑賞・活動補助
体育文化活動費	6,960	580	対外試合遠征費
進路指導費	3,600	300	進路指導関係経費
空 調 費	2,400	200	空調電気料
生徒会費	9,000	750	生徒会活動費
計	28,800	2,400	

(2) 学級費

生徒個人が使用する教材及び資格検定試験等

※年額(単位:円)

科	建築	工業化学	土木	電気	機械	電子
学級費額	35,000	25,000	20,000	25,000	30,000	45,000

3学年 校納金等について

1 令和8年度校納金の徴収額(3学年)

学科	項目・納期	1期(4/27)	2期(5/25)	3期(6/25)	4期(7/27)	5期(9/25)	6期(10/26)	合計
建築	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	30,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	58,800
工業化学	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
土木	学級費	5,000	5,000	5,000	-	-	-	15,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	4,800	4,800	4,800	43,800
電気	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	30,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	58,800
機械	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	-	25,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	53,800
電子	学級費	5,000	5,000	5,000	5,000	-	-	20,000
	諸会費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	28,800
	合計	9,800	9,800	9,800	9,800	4,800	4,800	48,800

※ご指定の銀行口座から毎月25日に振替を行います。
(25日が金融機関の休業日になる場合は翌日(翌々日)となります。)

2 口座振替 年6回

- 1期 振替日 4月27日(月)
- 2期 振替日 5月25日(月)
- 3期 振替日 6月25日(木)
- 4期 振替日 7月27日(月)
- 5期 振替日 9月25日(金)
- 6期 振替日 10月26日(月)

※振替日前日までにご入金ください。

(残高不足等で引き去りができなかった月は現金で事務室窓口に納入して頂きます。)

3 諸会費内訳

(1) 諸会費 (内訳は見込額。PTA総会で承認予定)

単位:円

諸会費	年 額	1ヶ月額	使 途
PTA会費	3,600	300	PTA活動費
学校振興費	3,240	270	芸術鑑賞・活動補助
体育文化活動費	6,960	580	対外試合遠征費
進路指導費	3,600	300	進路指導関係経費
空 調 費	2,400	200	空調電気料
生徒会費	9,000	750	生徒会活動費
計	28,800	2,400	

(2) 学級費

生徒個人が使用する教材及び資格検定試験等

※年額(単位:円)

科	建築	工業化学	土木	電気	機械	電子
学級費額	30,000	25,000	15,000	30,000	25,000	20,000

保健室より

お子さまが学校生活を健康に過ごせるために、学校と家庭との連携を図りながら、保健室経営に取り組んでいきたいと考えています。御協力をよろしくお願いいたします。

1 健康診断（健康管理）

- ① 4月から定期健康診断を実施しています。検診の結果、治療や精密検査等が必要な生徒へ「結果のお知らせ」を配布しますので、早めの専門医受診をお願いいたします。なお、受診されましたら「診察結果」を保健室へ御提出ください。

特に3年生は、就職・進学試験の前に必要な検査・治療を済ませておいてください。

- ② 日常の学校生活において、特に注意を要する点または運動制限等ありましたら、お知らせください。（担任とも確認をお願いします。）

2 救急処置

- ① 保健室での処置は、経過観察や病院受診までの応急手当のみです。負傷当日以外や学校活動外でのケガについては、御家庭で処置をお願いします。
- ② 医療機関を受診する必要がある時または経過観察が必要な時には、担任を通して連絡いたします。（※緊急時の連絡先に変更があった場合は、確実に担任へお知らせください。）
- ③ 学校の管理下（登下校・部活動・寮内も含む）で起こったケガなどに対しては、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度（資料：50ページ）により、保護者に対し医療費等の給付が行われます。（災害が発生した時には、速やかに担任または部活動顧問および保健室へ御連絡ください。）

3 健康相談

- ① 心身のことやその他のことでも、相談したいことがある時はお気軽に申し出てください。
- ② 今年度もスクールカウンセラーが来校されます。保護者からの相談も受付けていますので遠慮なく御相談ください。（希望される時は、担任に連絡してください。）

4 その他のお願い

- ① 基本的な生活習慣（生活リズム）を身につけさせてください。
 - ・規則正しい食生活（朝食抜きで体調不良になる生徒がいます。）
 - ・睡眠時間の確保（夜更かしをしない。就寝1時間前には、スマホやゲームから離れる。）
 - ・朝、登校前にお子さまの健康観察をしてください。体調が悪い場合は体温を確認され、病院受診など適切な対応をお願いします。※資料50ページの表に示してある感染症と診断された場合、証明書を提出していただくと出席停止になります。（ホームページにも掲載）
インフルエンザについては検査結果や薬の処方箋等を証明とします。登校復帰後で構いませんのでご提出ください。
- ② 体育や部活動中の些細な動きでも骨折等が起こっています。家庭での生活（食事抜き・ジュースの飲み過ぎ・睡眠不足など）へも注意をお願いいたします。
- ③ お子さまが自分自身の健康管理ができるように、お声かけをお願いします。

学校感染症出席停止証明書

保護者各位

鹿児島県立加治木工業高等学校長

学校保健安全法第19条により、学校において予防すべき感染症に罹患した場合は「出席停止」となります。出席停止期間については、下記のように規定されております。

医師に診断を受けましたら、下記に記入していただき、学級担任へ提出してください。なお、インフルエンザにつきましては、処方された薬の説明書または検査結果(氏名と日付が記載されたもの)の写しで構いません。

分類	病名	出席停止期間の基準
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、特定鳥インフルエンザ、中東呼吸器症候群(MERS),	治癒するまで
第二種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫張が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発しんが消失するまで
	水痘(みずぼうそう)	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
第三種	コレラ・細菌性赤痢・腸管出血性大腸菌感染症・腸チフス・パラチフス・流行性角結膜炎(はやり目)・急性出血性結膜炎(アポロ病)	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	その他の感染症(感染性胃腸炎など) (感染拡大を防ぐために必要があるときに限る)	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

主治医殿

御多用中誠に恐縮ですが、下記に御記入の上、生徒にお渡しくださいますようよろしくお願いいたします。

記

科 年 組 氏名

1 病 名 _____

2 出席停止期間 令和 年 月 日() ~ 令和 年 月 日()

令和 年 月 日

医療機関名
及び医師名

学校(園)又は通学(園)中にケガをした時の手続き方法

申請の手続きは、次のとおりお願いします。

- 1 学校(園)の先生から請求に必要な用紙を受け取ってください。各用紙は、J S Cのホームページからダウンロードすることもできます。

【請求に必要な主な用紙】

用紙の種類	証明機関	説明
医療等の状況(別紙3(1))	病院・歯科医院	医療機関を受診したときに使用します。
医療等の状況(別紙3(3))	柔道整復師(接骨院など)	柔道整復師から施術を受けたときに使用します。
調剤報酬明細書(別紙3(7))	保険薬局	医師の処方箋により、保険薬局から薬を購入したときに使用します。
治療用装具・生血明細書(別紙3(6))	医療機関・保護者	医師が治療上必要と認めた治療用装具を購入したときに使用します。 ※領収書の写しの添付と保護者の証明(下半分)が必要です。

- 2 受診した医療機関等に①の用紙を提出し、証明を受けてください。
*健康保険が適用される受診が対象です。
*複数月にかかる場合は、療養月ごとの証明が必要となります。
- 3 ②の用紙を学校(園)の先生に提出してください。
*医療費(医療等の状況の診療報酬請求点数又は治療用装具の装具費用)が7,000点(70,000円)以上の場合は、「高額療養状況の届」が必要となります(医療費助成制度を利用した場合*は、提出を省略できます。)

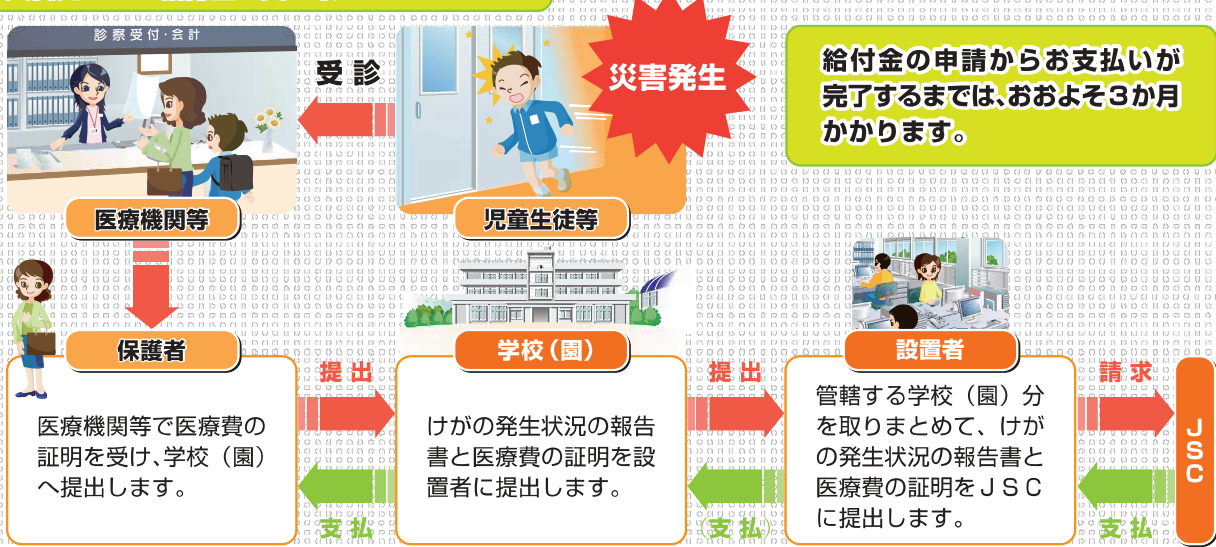
*受診した月から2年間請求を行わなかった場合は、時効により給付が受けられなくなります。

例：2023年6月療養分は、2025年7月10日までにJ S Cに請求しないと時効になります。

*医療費助成制度を利用*又は高額療養費に該当した場合は、自己負担額に応じた給付金をお支払いします。

※医療費助成制度については、自治体により取扱いが異なります。

災害発生から給付金を受け取るまでのながれ



災害共済給付制度とは

学校で起こったケガ等に対して医療費の給付を行う制度です。この給付の経費を、国・学校の設置者・保護者(同意確認後)の三者で負担しています。

お願い

『医療等の状況』等を医療機関等に証明していただくに当たっては、医師、歯科医師、薬剤師、柔道整復師、鍼灸師のみなさまの特別の配慮によりご協力をいただいております。

用紙を持参してもその場ですぐ書いていただけない場合もありますことをご了承ください。

学校(園)の先生方へ こちらの用紙を『医療等の状況』と共に保護者にお渡しください。

災害共済給付Webに請求ガイドブックを掲載しています。→

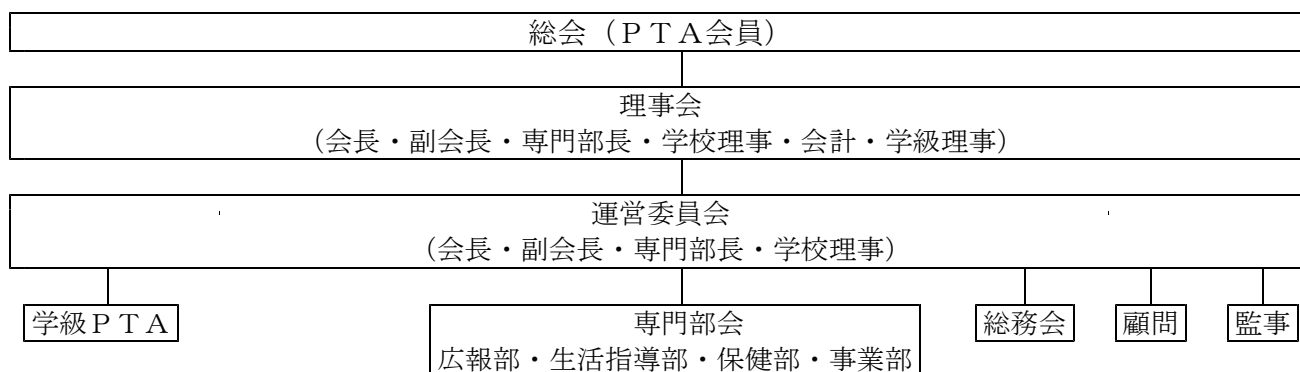


災害共済給付Web
「保護者の方へ」ページ

JAPAN SPORT COUNCIL

日本スポーツ振興センター

P T A 組 織 図



鹿 児 島 県 立 加 治 木 工 業 高 等 学 校 P T A 会 則

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この会は鹿児島県立加治木工業高等学校 P T A と称し、事務局を学校に置く。

(目 的)

第 2 条 この会は、学校と家庭と地域の密接な連携と積極的協力によって、本校教育全般の向上発展に努めるとともに、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 3 条 前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 1 生徒の学習、生活指導、保健衛生に関する連携協力
- 2 学校の教育的環境の整備
- 3 生徒の進路指導に関すること
- 4 会員の教養向上の為の研修会及び講演会
- 5 会員相互の親睦及び慶弔に関すること
- 6 その他、目的達成に必要な事項

(会 員)

第 4 条 この会の会員は保護者と教職員とする。ただし、この会の趣旨に賛同し協力する者は会員として推薦することができる。

第 2 章 役 員

(役 員)

第 5 条 この会に次の役員をおく。

- 1 会 長 1 名
- 2 副会長 若干名 (内 1 名は教頭、内 1 名は母親代表)
- 3 専門部長 若干名 (各専門部 1 名)
- 4 理 事 若干名 (学級理事 2 名、学校理事)
- 5 会 計 若干名
- 6 監 事 若干名
- 7 顧 問 若干名

(任 務)

- 第 6 条
- 1 会長は、この会を代表し会務を総括する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し会長不在の場合はその代行し、各専門部活動の企画運営に協力する。
 - 3 学級理事は、学級 P T A 及び学年 P T A の企画・運営にあたる。
 - 4 監事は、会務及び収支を監査し総会に報告する。

(役員の選出)

第 7 条 役員を選出は次の通りです。

- 1 会長・副会長 (母親代表含む)・専門部長は会員の中から理事会で選出し、総会の承認を受ける。
- 2 学級理事は学級の中から互選し、学年理事代表は学級理事の中から選出する。また、学校職員の中から若干名を学校理事に選出する。
- 3 監事は、総会において会員の中から選出する。
- 4 会計は会長が委嘱する。
- 5 この会に顧問を若干名置く。顧問は、会長が委嘱する。

6 役員に欠員が生じた場合には、必要に応じて会員の中から選出する。

(役員任期)

第8条1 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前条第6項(欠員による選出)の場合は、前任者の任期とする。

第3章 会議

(会議)

第9条 この会に下記の会議をおく。

- 1 総会
- 2 理事会
- 3 運営委員会
- 4 総務会
- 5 専門部会
- 6 学級PTA
- 7 学年PTA

(総会)

第10条1 総会は年1回開く。また、次の場合には臨時総会を開くことができる。

- (1) 会長が必要と認め、理事会で了承された場合
- (2) 会員の3分の1以上の請求があった場合

2 総会は会員の3分の2の出席(委任状を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数の賛成による。なお、議長は会員の中から選出する。

第11条 総会では、次の事項を決議する。

- 1 運営の基本方針
- 2 事業報告及び決算
- 3 事業計画及び予算
- 4 事業報告
- 5 会則の改正
- 6 その他必要事項

(理事会)

第12条1 理事会は、会長・副会長・専門部長・学級理事・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

- 2 理事会は、構成員の過半数(委任状を含む)の出席で成立し、議長は理事の中から選出する。
- 3 理事会の決議は、出席者の過半数の賛成を必要とする。賛否同数の場合は議長が決する。
- 4 理事会は、次の事項を決議する。
 - (1) 総会に提案する事項
 - (2) 会長・副会長・専門部長の選出
 - (3) その他必要な事項

(運営委員会)

第13条1 運営委員会は、会長・副会長・専門部長・学校理事・会計で構成し、必要に応じて会長が招集する。

- 2 運営委員会は、次の事項について審議する。
 - (1) PTA行事の企画・調整
 - (2) 予算の調整
 - (3) 理事会提出事項の審議
 - (4) 緊急事項の審議
 - (5) その他必要事項

(総務会)

第14条1 総務会は、会長・副会長・学校理事で構成し、必要に応じて会長が招集する。

- 2 総務会は、本会全般の企画・運営・調整を行う。

(専門部会)

第15条1 本会の目的達成の為、次の専門部会をおく。各専門部は、必要に応じて部会を開きそれぞれの活動に必要な事項について、立案・執行するものとする。

- (1) 広報部
PTA新聞の発行、その他PTA活動等の情報発信
- (2) 生活指導部
家庭・学校・地域における生活指導及び進路指導に関すること
- (3) 事業部
研修・講演会等の企画・運営
- (4) 保健部
生徒の体位・体力の向上と、学校保健の振興に関すること。

2 各専門部は、学級理事をもって構成し、部長・副部長を置く。

3 各専門部は、部長が招集する。なお、活動状況は運営委員会に報告する。また、活動に当たっては、会長と連携を密にする。

第16条 各部会の運営はそれぞれの部会で定める。

第4章 会計

(会計)

第17条 この会の会費その他をもって充てる。

臨時徴収を必要とする場合は、理事会を以て総会の議決に代える。

第18条 この会の会計年度は4月1日に始まり翌年の3月31日に終る。

第5章 慶弔

第19条 本会の慶弔規定は別に定める。

第6章 表彰

第20条 本会の表彰規定は別に定める。

附 則

- 1 本会の運営に関し必要な細則はこの会則に反しない限りにおいて理事会の議を経て定める。
- 2 この会則は平成元年5月16日から改正施行する。
- 3 この会則は平成16年5月16日から改正施行する。(17条)
- 4 この会則は平成17年5月13日から改正施行する。(5・6・12・13条)
- 5 この会則は平成18年5月15日から改正施行する。(7・10条)
- 6 この会則は令和5年5月12日から改正施行する。(5・6条2・7・9・12条1・15条2)

P T A 慶弔規定

第1条 教職員に慶弔または異動のあったときは次のとおりとする。

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) 結婚のとき | 5,000 円 |
| (2) 転退職のとき (1年目は) | 3,000 円 |
| (後1年につき) | 1,000 円加算 |
| (3) 病気3週間以上連続欠勤 | 3,000 円 |
| (4) 死 亡 | |
| 家族・1親等の血族 | 5,000 円 |
| 配偶者 | 10,000 円 |

(本人は特別審議)

第2条 生徒および保護者の慶弔については次のとおりとする。

- | | |
|--------------|----------|
| (1) 生徒死亡のとき | 10,000 円 |
| (休学中の生徒) | 5,000 円 |
| (2) 保護者死亡のとき | 5,000 円 |

(役員は特別審議)

第3条 会員宅の火災・風水害その他被災したときの災害見舞金は次のとおりとする。

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 相当規模の被害が生じたとき | 10,000 円 |
|-------------------|----------|
- (その他は特別審議)

附 則

附 則 この規定は平成26年2月21日から実施する。

P T A 表彰規定

- 1 本会会則第6章・第20条に基づき表彰に必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 この規定に要する費用は、P T A歳出予算の慶弔をもって充てる。
 - (1) 表彰者には、表彰状及び記念品 (原則5,000円程度の焼き物など) を贈る。
- 3 この規定は、次の項目に該当する場合に適用し、総会に於て表彰する。
 - (1) 会長・副会長・専門部長が辞任のとき。
 - (2) 理事・監事として、連続3年以上献身的に本会の運営に協力した者。
 - (3) 以上の各項目に該当しない会員または会員以外の者で、本会の運営に協力し特にその功績が顕著であった者。

附 則

附 則 この規定は平成29年2月23日から実施する。

令和8年度 1学期 行事予定表

4月		5月		6月		7月		8月							
1	水	学年始休業日(4/1~4/6)	1	金	一日遠足	1	月	相互授業参観(～5) 水曜日の授業	1	水	求人票受付開始 全体朝礼 第3回頭髪服装指導	1	土		
2	木		2	土		2	火	進学希望者説明会(1,2年)	2	木		2	日		
3	金		3	日	憲法記念日	3	水	実力考査①(3年)国・数・英 進学希望者説明会(3年)	実力考査	3	金	統一LHR(体育祭選手・応援団決定) 機械製図検定(二次)	3	月	
4	土		4	月	みどりの日	4	木	実力考査②社・SPI・SPI 歯科講話(1年)		4	土	第一種電気工事士(技能)	4	火	
5	日		5	火	こどもの日	5	金	高校生ものづくりコンテスト大会 統一LHR (進路:レディネス(1年)・進路適性(2年))	5	日		5	水		
6	月		6	水	振替休日	6	土	高校生ものづくりコンテスト大会	6	月	一覧表提出	6	木		
7	火	新任式 始業式 大掃除(旧) 会場設営・装飾 頭髪服装指導(2・3年)	7	木	春季地区大会①(3限授業) ※①②③の授業【臨時時間割】	地区大会	7	日		7	火	学年朝礼 加治木駅前花壇整備(3年)	7	金	
8	水	入学式 入室式 1年P理事決定	8	金	春季地区大会②(3限授業) ※①②③の授業【臨時時間割】		8	月		8	水		8	土	
9	木	駐輪指導 登校指導 対面式 LHR(役員選出) 統一LHR(進路手帳) オリエンテーション(1年) 体育服引渡日	9	土		9	火	全体朝礼・表彰式	9	木		9	日		
10	金	駐輪指導 登校指導 クレジット検査(1年) 進路マップ (2,3年) 課題考査 オリエンテーション(1年)	10	日		10	水		10	金	パソコン利用技術検定 初級CAD検定 教育相談講話	10	月		
11	土		11	月	歯科検診(2年) 教育実習(A科・国語科)	教育実習	11	木		11	土	高校生ものづくりコンテスト九州大会(熊本県)	11	火	山の日
12	日		12	火	全体朝礼・表彰式 歯科検診(1年) 検尿二次		12	金	3年校内進路ガイダンス 機械製図検定(一次)	12	日	高校生ものづくりコンテスト九州大会(熊本県)	12	水	
13	月	心電図検査(1年・職員) 内科検診(1年) 生徒会専門委員会①	車体検査	13	水	公務員オリエンテーション	13	土	危険物取扱者試験(本校)	13	月		13	木	
14	火	科朝礼 体力テスト(3年③④,2年⑤⑥) 内科検診(2年) 生徒会専門委員会②		14	木	PTA総会 学級PTA 学寮PTA(3限授業) ※④⑤⑥の授業	14	日	2級電気工事施工管理士	14	火	科朝礼 先生になろうプロジェクト② 加治木特別支援学校交流会	14	金	
15	水	内科検診(3年) 検尿一次 体力テスト(1年③④) 生徒会専門委員会③	15	金	特設LHR(いじめ①学校楽しいーと)1限目 ※②カット 第1回避難訓練(6限目)	15	月	新規単車通学申請(～18日まで)	15	水	クラスマッチ①	15	土		
16	木	検尿一次 1年生写真撮影 個人写真撮影(2・3年 未撮影者) 情報モラル教室 代議委員会①	16	土		原付免許受験申請	16	火	科朝礼	16	木	クラスマッチ② 単車受験保護者説明会	16	日	
17	金	統一LHR(生徒総会1) 生徒会専門委員会④	17	日	測量士補 測量士		17	水		17	金	終業式 大掃除 学習特別指導 第2級特殊無線技士(陸上,海上)	17	月	
18	土		18	月	第2回頭髪服装指導 結核検診(午前) いじめ問題を考える週間(～22日まで)	18	木		18	土		18	火		
19	日		19	火	学年朝礼 就活応援キャラバン(2～4限:P2・P3,A2・A3) 特設LHR(交通安全教室)⑥カット	19	金	計算技術検定	19	日		19	水	出校日	
20	月	歯科検診(3年)	20	水	先生になろうプロジェクト①	20	土		20	月	海の日	20	木		
21	火	家庭訪問・三者面談① ※①②③の授業 身体測定	家庭訪問・三者面談	21	木	教育相談① 短縮45分授業	教育相談	21	日		21	火	夏季休業(7/21～8/31)	21	金
22	水	家庭訪問・三者面談② ※①②③の授業 視力検査 短縮45分授業		22	金	教育相談② 短縮45分授業 結核検診(午後)		22	月		22	水		22	土
23	木	家庭訪問・三者面談③ ※①②③の授業 1年生写真撮影(予備日) 代議委員会② C3職業講話(2限目)	23	土		23	火	期末考査① 駅指導	23	木		23	日		
24	金	家庭訪問・三者面談④ ※④⑤⑥の授業 統一LHR(生徒総会2)	24	日	第2種電気工事士(学科)	24	水	期末考査② 駅指導	24	金		24	月		
25	土		25	月	教育相談③ 短縮45分授業 校納金振替日(1・2・3年)	25	木	期末考査③ 駅指導 校納金振替日(1・2・3年)	25	土		25	火		
26	日		26	火	教育相談④ 短縮45分授業	26	金	期末考査④ 情報技術検定	26	日		26	水		
27	月	家庭訪問・三者面談⑤ ※④⑤⑥の授業 校納金振替日(2・3年)	27	水	教育相談⑤ 短縮45分授業	27	土		27	月	校納金振替日(1・2・3年)	27	木		
28	火	家庭訪問・三者面談⑥ ※④⑤⑥の授業 検尿一次(脱漏)	28	木	教育相談⑥ 短縮45分授業 結核検診(午後)【予備日】	28	日		28	火		28	金		
29	水	昭和の日	29	金	教育相談⑦ 短縮45分授業 生徒総会	29	月		29	水		29	土	第三種電気主任技術者試験 (筆記方式)	
30	木	家庭訪問・三者面談⑦ ※④⑤⑥の授業	30	土		30	火		30	木		30	日		
			31	日					31	金	校内選考会	31	月		

令和8年度 2学期 行事予定表

9月		10月		11月		12月	
1 火	始業式 大掃除 第4回頭髪服装指導 LHR(生徒会役員選出・学校楽しいと②)	1 木	工業祭実行委員会②	1 日	県民週間(～7)	1 火	修学旅行①
2 水	体育祭学年練習(3年②,2年③,1年④) 登校指導	2 金	生徒会立会演説	2 月	振替休日(工業祭)	2 水	修学旅行②
3 木	体育祭練習(全体③④,学科⑤⑥) 応援団確認 登校指導	3 土	マイコンカー県大会(本校)	3 火	文化の日	3 木	修学旅行③
4 金	体育祭設営(①②) 体育祭予行(③④⑤⑥) 登校指導	4 日	マイコンカー県大会(本校) 第一種電気工事士試験(筆記)	4 水	相互授業参観(～6)	4 金	修学旅行④ 統一LHR(手帳)
5 土	体育祭	5 月		5 木		5 土	
6 日	体育祭予備日	6 火	インターンシップ(2年)	6 金	統一LHR(全校読書)	6 日	
7 月	振替休日(体育祭)	7 水	インターンシップ(2年)	7 土	危険物取扱者試験(本校)	7 月	
8 火	科朝礼(体育祭解団式) 課題調査①(1・2年:国・理・英) 教育相談① 短縮45分授業	8 木	インターンシップ(2年)	8 日	2級電気工事施工管理技術検定(後期)	8 火	全体朝礼・引継式(生徒会)・表彰式
9 水	課題調査②(1・2年:社・数・専) 教育相談② 短縮45分授業	9 金	2年統一LHR(インターンシップ 反省) リスニング英語検定	9 月		9 水	生徒指導講話(生命の大切さを考える)
10 木	教育相談③ 短縮45分授業	10 土		10 火	学年朝礼	10 木	
11 金	教育相談④ 短縮45分授業 基礎製図検定	11 日		11 水		11 金	始良伊佐地区専門高校フェスタ(国分中央高) パソコン利用技術検定
12 土		12 月	スポーツの日	12 木		12 土	
13 日		13 火	学年朝礼 工業祭実行委員会③	13 金	2年合同LHR(修学旅行 業者説明) 生徒発表大会(吹上)	13 日	
14 月	教育相談⑤ 短縮45分授業 3年生激励会	14 水	先生になろうプロジェクト③	14 土		14 月	
15 火	教育相談⑥ 短縮45分授業	15 木	芸術鑑賞教室(加音ホール 予定)	15 日		15 火	学年朝礼
16 水	就職選考試験開始 教育相談⑦ 短縮45分授業	16 金	工業祭準備期間(～29) リスニング英語検定(予備日)	16 月		16 水	
17 木		17 土		17 火	全体朝礼・表彰式・壮行会	17 木	
18 金	2年合同LHR(インターンシップ 事前確認)	18 日		18 水		18 金	人権同和教育講話(生徒)
19 土		19 月		19 木		19 土	
20 日		20 火	全体朝礼・表彰式	20 金	2年統一LHR(修学旅行) 計算技術検定	20 日	
21 月	敬老の日	21 水		21 土	マイコンカーラリー九州大会(本校) 第一種電気工事士(技能)	21 月	
22 火	国民の休日	22 木		22 日	マイコンカーラリー九州大会(本校) 第一種電気工事士(技能)	22 火	クラスマッチ①
23 水	秋分の日	23 金	2学年PTA(修学旅行)	23 月	勤労感謝の日	23 水	クラスマッチ② 単車受験保護者説明会
24 木	工業祭実行委員会①	24 土		24 火	期末考査① 駅指導	24 木	終業式 大掃除 学習特別指導
25 金	統一LHR(工業祭①) 校納金振替日(1・2・3年)	25 日	第二種電気工事士試験(筆記)	25 水	期末考査② 駅指導 校納金振替日(1年)	25 金	冬季休業日(～1/7)
26 土		26 月	校納金振替日(1・2・3年)	26 木	期末考査③ 駅指導 学寮避難訓練	26 土	第15回吹奏楽部定期演奏会
27 日		27 火	学年朝礼(選択科目説明会) 第5回頭髪服装指導	27 金	期末考査④ 第2回避難訓練	27 日	
28 月	加治木駅前花壇整備(2年)	28 水		28 土		28 月	
29 火	秋季地区大会①(3限授業)	29 木		29 日		29 火	学校閉庁(12/29～1/3)
30 水	秋季地区大会②(3限授業)	30 金	工業祭	30 月	第6回頭髪服装指導 2学年臨時学年朝礼	30 水	
		31 土	工業祭			31 木	大晦日

令和8年度 3学期 行事予定表

1月		2月		3月	
1	金 元旦	1	月	1	月 卒業式 会場撤去 装飾撤去
2	土	2	火 推薦入学者選抜	2	火 学年朝礼 入試会場設営
3	日	3	水	3	水 一般入学者選抜 1日目 自宅学習(~10)
4	月	4	木	4	木 一般入学者選抜 2日目
5	火	5	金 工業基礎学力テスト	5	金
6	水	6	土	6	土
7	木 冬季休業日(12/25~1/7)	7	日	7	日
8	金 大掃除 始業式 第7回頭髪服装指導	8	月	8	月
9	土	9	火 学年朝礼	9	火
10	日	10	水	10	水
11	月 成人の日	11	木 建国記念の日	11	木
12	火 課題考査①(1,2年)	12	金 統一LHR(1・2年 手帳)	12	金 合格者発表 短縮3時間授業
13	水 課題考査②(1,2年) 登校指導	13	土	13	土
14	木 登校指導	14	日	14	日
15	金 登校指導 3年生統一LHR(手帳) 情報技術検定 グラフィックデザイン検定	15	月	15	月 合格者集合
16	土	16	火 学年末考査(1,2年)① 駅指導	16	火 学年朝礼
17	日	17	水 学年末考査(1,2年)② 駅指導	17	水
18	月	18	木 学年末考査(1,2年)③ 駅指導	18	木
19	火 科朝礼(ブロック長引継)	19	金 学年末考査(1,2年)④	19	金 第二次入学者選抜
20	水 教育相談① 短縮45分授業	20	土	20	土 秋分の日
21	木 教育相談② 短縮45分授業	21	日	21	日 第三種電気主任技術者試験
22	金 教育相談③ 短縮45分授業 加治木駅前花壇整備(1年)	22	月 県内企業説明会(2年) 第8回頭髪服装指導	22	月
23	土	23	火 天皇誕生日	23	火 合格者発表 合格者集合
24	日	24	水	24	水 スポーツ交歓大会 単車受験保護者説明会
25	月 教育相談④ 課研進路体験発表会(C科)	25	木 式場設営・装飾	25	木 終業式 離任式 大掃除
26	火 学年末考査①(3年) 朝掃除	26	金 卒業式予行 同窓会入会式 卒察式	26	金 学年末休業日(3/26~3/31)
27	水 学年末考査②(3年) 朝掃除 教育相談⑤	27	土	27	土
28	木 学年末考査③(3年) 朝掃除 教育相談⑥	28	日	28	日
29	金 学年末考査④(3年) 朝掃除 教育相談⑦ 3年合同LHR 献血(3年) 大学進学セミナー(鹿工)	29	月	29	月
30	土	30	火	30	火
31	日	31	水	31	水

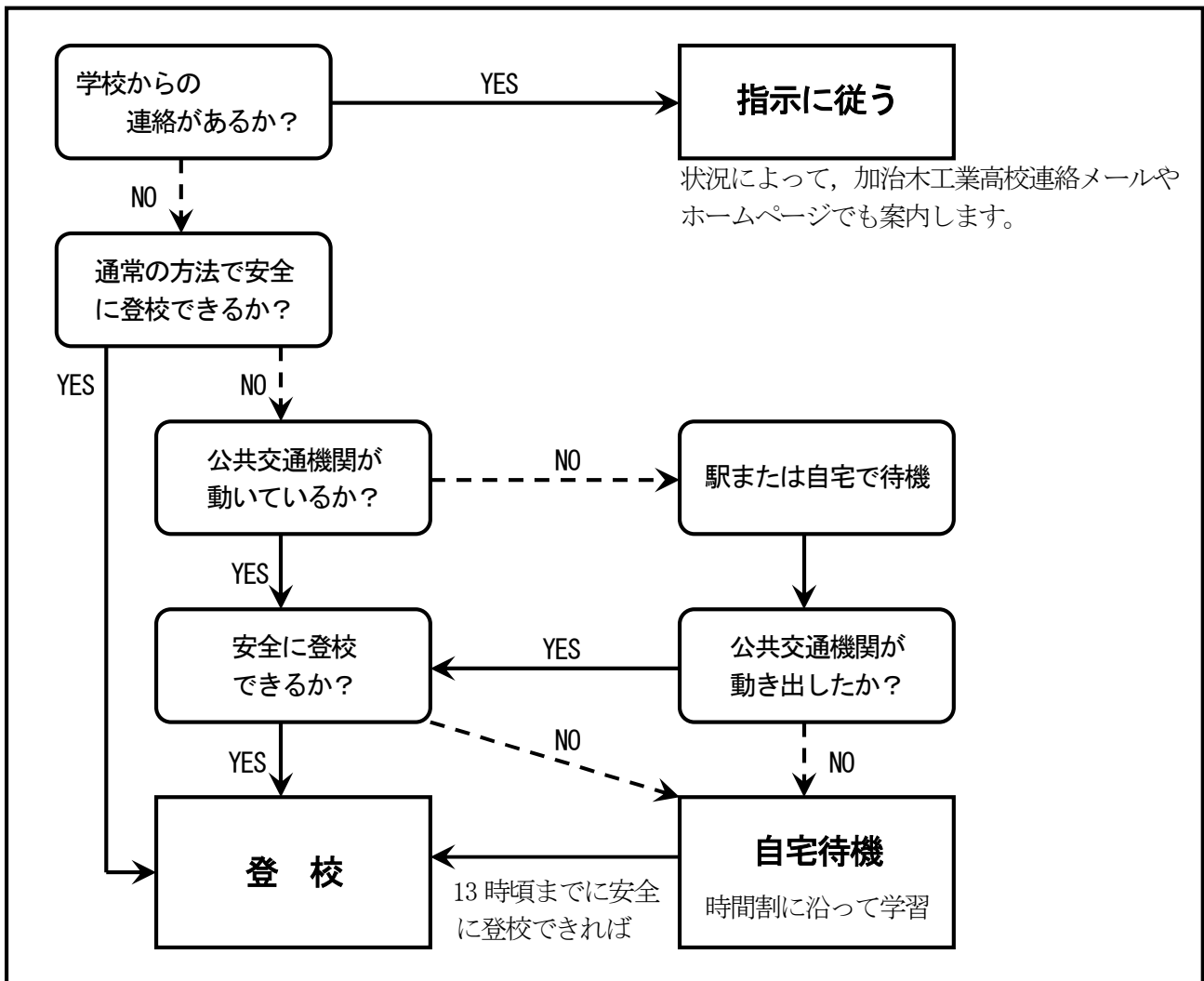
原付免許試験申請

教育相談

学年末考査

台風や大雨, 大雪等時の対応について

台風や大雨, 大雪等によって, 登校に困難を感じる場合には, 下の流れ図に沿って行動してください。登校の前提は「通常の方法で安全に登校」できる状態であることです。明らかに, 登校できる状態で登校しなかった場合は, 欠席扱いとなることがあります。



【注意】

- 1 判断に迷うような場合は, 担任と連絡をとって指示を受けてください。
- 2 学校への電話等は控えてください。回線が塞がり, 他の必要な連絡ができなくなります。
- 3 自宅待機中は, 時間割に沿って学習してください。
- 4 J R通学生は運行状況を随時確認してください。

学校ホームページ



学級 PTA 会場

科名略記号

- A: 建築科
- C: 工業化学科
- P: 土木科
- E: 電気科
- M: 機械科
- R: 電子科

例) M2-1: 機械科2年1組
A1: 建築科1年

部活動 PTA 会場

- ラグビー部: 工業化学科4F多目的室
 - 陸上部: 建築科標本室
 - テニス部: 電気科棟二階電子室
 - バレーボール部: M3-1
 - バスケットボール部: 電子科棟3F
 - ハンドボール部: 選択教室②
 - バドミントン部: 機械科棟二階製図室
 - 吹奏楽部: 音楽室
- 各部16:00~16:40頃開催

トイレ : 男子 : 1F 女子 : 2F・3F・4F

管理・普通教室等 : 第1棟

化学実験室	理科準備室	理科講義室	4F	A1	M1-1	M1-2	C1	E1	P1	4F	R1			
物理実験室	物理準備室	理科職員室	3F	A2	M2-1	M2-2	C2	E2	P2	3F	R2			
会議室	選択教室1	選択教室2	2F	A3	M3-1	M3-2	C3	E3	P3	2F	R3			
進路室	生徒相談室	保健室	1F	普通科職員室			応接室	事務室	校長室	事務倉庫	小会議室	1F	社会科	生徒指導室

階段

玄関

階段

出入口

正門